

令和 4 年度みえ森と緑の県民税基金事業（資料編）

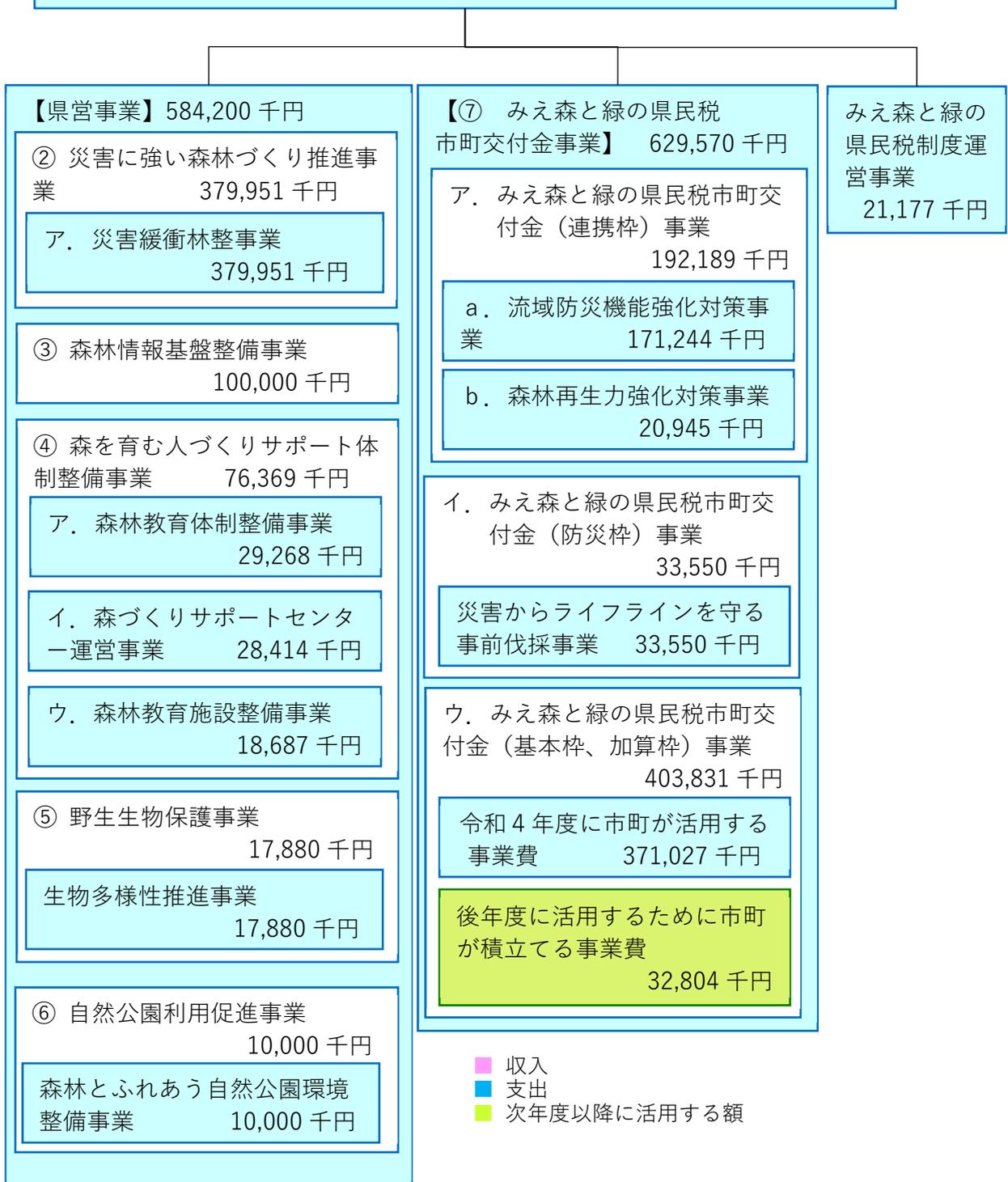
目 次

①	みえ森と緑の県民税基金積立金事業	1
②	災害に強い森林づくり推進事業	
	ア. 災害緩衝林整備事業	2
③	森林情報基盤整備事業	13
④	森を育む人づくりサポート体制整備事業	
	ア. 森林教育体制整備事業	16
	イ. みえ森づくりサポートセンター運営事業	24
	ウ. 森林教育施設整備事業	33
⑤	生物多様性推進事業	35
⑥	森林とふれあう自然公園環境整備事業	38
⑦	みえ森と緑の県民税市町交付金事業	
	ア. みえ森と緑の県民税市町交付金（連携枠）事業	44
	a. 流域防災機能強化対策事業	
	b. 森林再生力強化対策事業	
	イ. みえ森と緑の県民税市町交付金（防災枠）事業	49
	a. 災害からライフラインを守る事前伐採事業	
	ウ. みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠、加算枠）事業	53
⑧	みえ森と緑の県民税制度運営事業	62

① 令和 4 年度みえ森と緑の県民税基金事業の構成

① みえ森と緑の県民税基金積立金事業 1,113,255 千円

みえ森と緑の県民税基金事業 総額 1,234,947 千円



災害に強い森林づくり推進事業

三重県農林水産部治山林道課

近年頻発する豪雨等の異常気象の増加をふまえ、流木や土砂の流出による災害発生の恐れのある溪流沿いの森林を対象に、県が流木災害等を軽減するため、①溪流内の危険木の除去、②流木や土砂の流下を緩衝する溪流沿いの森林整備、③倒木や土砂の溪流への流入を抑制する山腹斜面での森林整備など、災害緩衝林の整備を進めます。

また、豪雨時に流下して下流に被害を与えるおそれのある治山施設等に異常に堆積した流木や土砂等について、除去を行います。

I 災害緩衝林整備事業

- ①溪流部において、流木になる恐れのある危険木を下流へ流れ出さなくするために「危険木の伐採、撤去」
- ②①の周辺溪岸部において、上流からの土砂の流下を緩和するために「立木の大径化を促す調整伐、伐採木の撤去」
- ③①②の周辺山腹部において、溪流内に土砂が流れ出さなくするために「立木の根茎の発達を促す調整伐」

II 土砂・流木緊急除去事業

豪雨等によって流出し人家等に被害を与える恐れのある「異常に堆積した流木や土砂等の除去」



整備前の森林状況



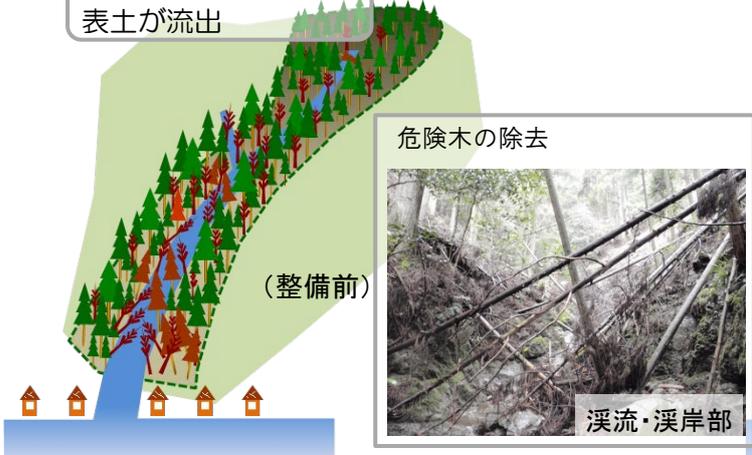
整備後の森林状況(紀宝町内)

災害緩衝林整備事業

近年頻発する豪雨等の異常気象の増加をふまえ、流木や土砂の流出による災害発生の恐れのある溪流沿いの森林を対象に、流木災害等を軽減するため、①溪流内の危険木の除去、②流木や土砂の流下を緩衝する溪流沿いの森林整備、③倒木や土砂の溪流への流入を抑制する山腹斜面での森林整備など、災害緩衝林の整備を進めます。

<整備前の森林の状態>

- 流出する恐れのある危険木が存在
- 間伐不足で過密小径な林分
- 下層植生がみられず表土が流出

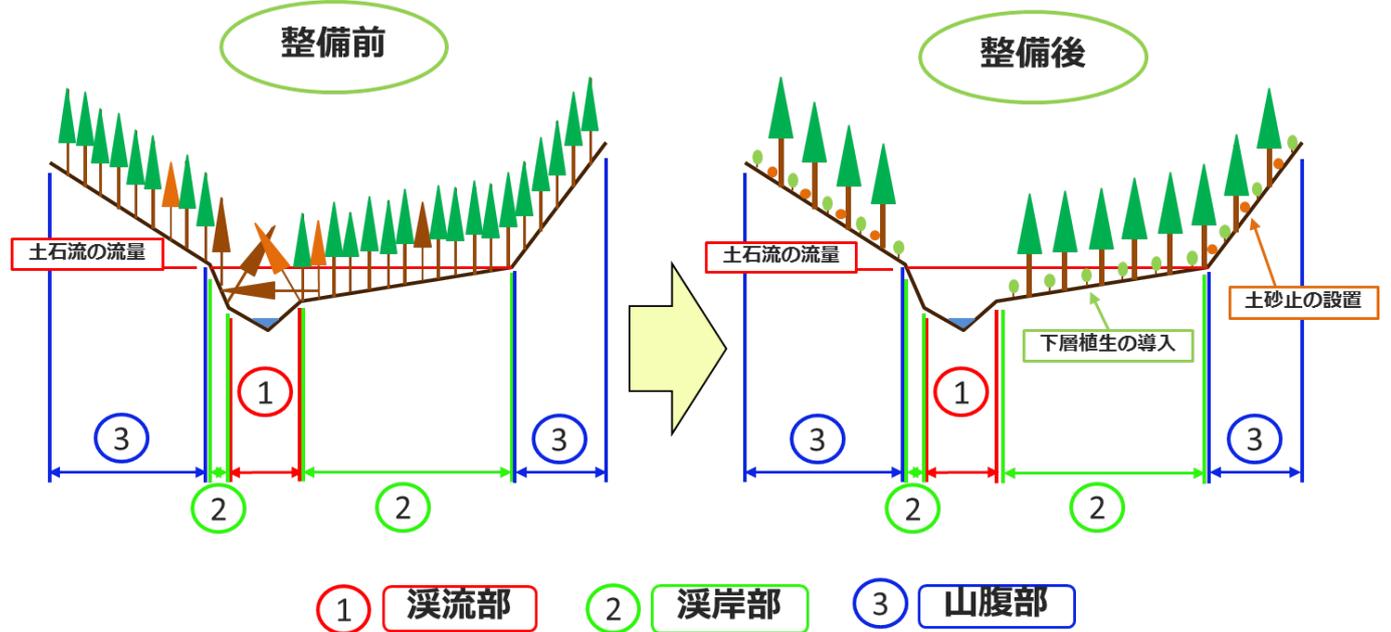


<整備区分 青字：立地環境 赤字：整備内容>

- ①溪流部で危険木の除去⇒流木発生抑制
- ②溪岸部で調整伐による立木の大径化促進⇒森林の抵抗力の増加⇒流木・土砂等流下緩衝
- ③山腹部で調整伐による根系の発達促進、土砂止の設置⇒斜面の安定化⇒流木・土砂等流出抑制



【整備区分横断図】



令和4年度 災害に強い森林づくり推進事業実施予定箇所一覧表

災害緩衝林整備事業

令和4年12月31日現在

番号	箇所番号	実施箇所				危険木除去 (m)	緩衝林整備 (ha)	実施予定額 (千円)	備考 (進捗状況)
		市町	大字	字	災害危険地 番号				
1	四-1	鈴鹿市	西庄内町	池ノ谷	-	210	3.76	5,800	完成
2	四-2	亀山市	関町市瀬	野々谷	-	400	3.75	4,700	施工中
3	四-3	亀山市	加太中在家	オシカガ谷	-	175	1.20	5,800	施工中
4	四-4	亀山市	加太中在家	三ツ合	-	225	1.50	4,500	施工中
5	四-5	亀山市	加太板屋	西谷	-	300	2.79	5,000	施工中
6	四-6	亀山市	安坂町	横尾	210-1	235	2.78	3,600	完成
7	四-7	亀山市	安坂町	一之谷	210-3	275	3.96	4,700	完成
8	津-1	津市	美杉町八知	トリガウエ	-	300	2.28	11,400	施工中
9	松-1	松阪市	大足町	大足山	-	500	2.42	10,100	施工中
10	松-2	松阪市	阪内町	尻附谷	-	250	2.96	16,348	施工中
11	松-3	松阪市	飯南町横野	フイ谷	-	360	2.71	3,400	施工中
12	松-4	松阪市	飯南町下仁柿	中倉	-	150	1.23	7,400	施工中
13	松-5	松阪市	飯高町宮本	桐ノ木	204-3038	150	0.16	6,100	完成
14	松-6	多気町	相鹿瀬	羽鹿谷	-	975	4.99	17,512	施工中
15	松-7	大台町	神瀬	狩ヶ谷	443-0006	200	0.67	27,794	完成
16	松-8	大台町	下真手	荷ノ倉	-	441	1.05	9,143	施工中
17	松-9	大台町	小切畑	庄吉小屋	-	140	0.09	4,746	施工中
18	伊-3	大紀町	永会	西ノ谷	471-0043	380	6.17	7,700	施工中
19	伊-4	大紀町	神原	樋ノ谷	471-0027	367	7.62	19,100	施工中
20	伊-5	度会町	田口	樋ノ谷	-	463	9.84	12,500	施工中
21	伊-6	大紀町	神原	上ヶ野	-	134	0.32	2,000	施工中
22	上-1	伊賀市	奥馬野	オク	-	230	5.26	9,400	完成
23	上-2	伊賀市	下阿波	皿上	216-412	810	9.03	14,800	施工中
24	上-3	伊賀市	上阿波	船ヶ谷	-	650	10.83	12,600	施工中
25	上-4	伊賀市	諸木	折戸	-	780	4.75	9,700	完成
26	上-5	名張市	青蓮寺	青蓮寺山	-	280	3.52	9,300	完成
27	尾-1	尾鷲市	古江町	ソラ	-	875	4.76	16,600	施工中
28	尾-2	尾鷲市	古江町	奥の谷	-	489	5.36	14,900	施工中
29	尾-3	尾鷲市	九鬼町	奥地	-	1,350	3.84	12,500	施工中
30	熊-1	熊野市	井戸町	土地山	-	325	2.48	4,300	施工中
31	熊-2	熊野市	井戸町	がま谷	216-412	1,250	4.32	20,600	施工中
32	熊-3	熊野市	紀和町大河内	和知谷	-	1,000	7.34	18,000	施工中
計	32箇所	12市町				14,669	123.74	332,043	

令和4年度 災害緩衝林整備事業 整備箇所

事例1 松阪市(桐ノ木)



溪流部 【整備前】



溪流部 【整備後】



溪岸部 【整備前】



溪岸部 【整備後】



山腹部 【整備前】



山腹部 【整備後】

令和4年度 災害緩衝林整備事業 整備箇所

事例2 伊賀市(折戸)



溪流部 【整備前】



溪流部 【整備後】



溪流部 【整備前】



溪流部 【整備後】



山腹部 【整備前】



山腹部 【整備後】

県庁舎及び市町庁舎等の PRパネル展示状況

伊賀庁舎



工事現場のPR状況

1. 施工前に「のぼり」を設置



2. 施工中の工事看板に税の内容を記載して設置



3. 完成後にPR標柱を設置



令和4年度 災害に強い森林づくり推進事業
 効果検証にかかる調査・研究事業 (林業研究所)

事業目的と検証事項

- 山腹部・・・調整伐による立木の成長の促進、
 斜面安定効果及び土砂流亡抑制効果発揮に対して

効果検証が必要な事項

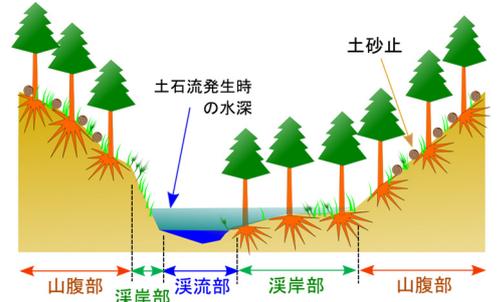
 - ・斜面安定効果、土砂流亡抑制効果は発揮できるか？ ..項目1
 - ・立木の成長は促進されるか？ ..項目2
- 溪岸部・・・調整伐による立木の成長の促進に対して

効果検証が必要な事項

 - ・立木の成長は促進されるか？ ..項目2
- 溪流部・・・危険木除去による流木発生抑制効果に対して

効果検証が必要な事項

 - ・流木発生抑制効果は持続しているか？ ..項目3



効果検証にかかる調査・研究

項目1 樹木根系による斜面安定効果調査
 根系発達による斜面安定効果を検証するために

- ① 根系分布調査、根引き抜き試験により、表層崩壊防止力を把握
- ② 土砂流亡量調査で、土砂流亡抑制効果の持続期間を把握



調整伐と伐倒木を利用した土砂止の設置



根引き抜き試験



根引き抜き試験及び根系分布調査の実施、土砂流亡量の継続調査

項目2 UAV(ドローン)を用いた森林モニタリング調査
 成長促進効果を検証するために

UAV空撮画像の解析により事業実施箇所の森林状況の変化を把握



調整伐実施後の状態変化を調査

項目3 整備森林における危険木発生状況調査
 危険木除去による流木発生抑制効果を検証するために

危険木を除去した溪流での流木等危険木発生状況を把握



危険木除去



現状？

項目1 樹木根系による斜面安定効果調査 (R1~5)

目的

- ① **根系による表層崩壊防止力の把握**・・・山腹部における調整伐実施による斜面安定効果(樹木根系の支持機能向上)を明らかにする。
- ② **土砂流亡量の継続調査**・・・調整伐実施、土砂止設置による土砂流亡抑制効果の持続期間を明らかにする。

方法

- ① 根引き抜き試験と根系分布調査から根系による表層崩壊防止力を明らかにし、調整伐実施地と未実施地との比較検証を行う。
- ② 平成27~29年度に土砂流亡量観測を行った試験地の一部で土砂流亡量の継続観測を行い、土砂流亡抑制効果の持続期間を検証する。三重大学との共同研究で実施する。

今年度を実施した内容

- ① 津市内の調整伐後9年経過した64年生スギ林と62~64年生ヒノキ林、同11年経過した60年生スギ林、大紀町内の同7年経過した61年生ヒノキ林、同6年経過した66年生ヒノキ林において、調整伐実施地と未実施地で各3断面の根系分布調査を行った。得られたデータに対し、根引き抜き試験から構築した崩壊防止力推定モデルを適用して崩壊防止力を推定した。調整伐実施地では未実施地と同程度以上まで崩壊防止力が高まっていた(図-1)。
- ② 県内3カ所の試験地において、土砂受け箱内に入った土砂を2カ月おきに調査することで土砂流亡量の観測を行った。調整伐後の林床被覆率上昇に伴う土砂流亡量の減少傾向が持続していた(図-2)。

今年度の今後の予定

- ① 引き続き、調整伐実施地と未実施地における根系分布調査を行い、根系による表層崩壊防止力のデータを収集する。調整伐実施地と未実施地との比較により調整伐の効果を検証する。
- ② 土砂流亡量の観測を継続するとともに、得られたデータの解析を行う。

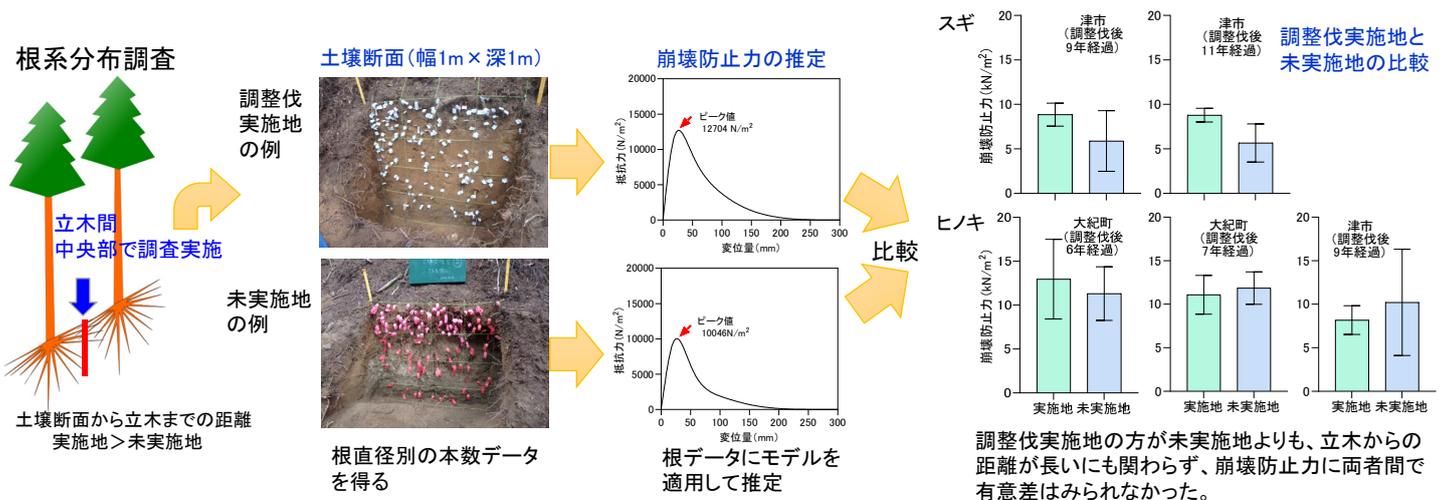


図-1. 調整伐実施地と未実施地における根系分布調査による崩壊防止力の比較

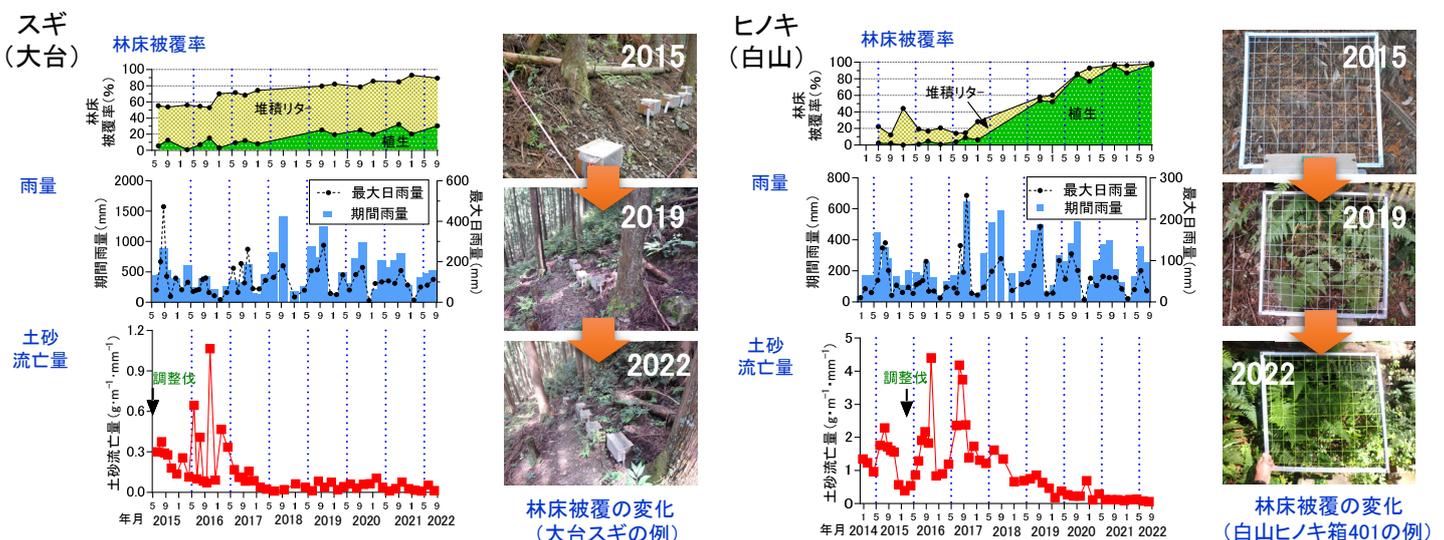


図-2. 調整伐後の林床被覆率、雨量、土砂流亡量の経年変化(大台試験地スギと白山試験地ヒノキの例)

項目2 UAVを用いた森林モニタリング調査 (R1~5)

目的

山腹部、溪岸部での調整伐による立木の肥大成長促進や健全性向上の効果を明らかにする。

方法

平成26年度より、航空レーザ測量データを用いて調整伐前後の森林状態の変化を広域的にモニタリングしている。UAV(ドローン)を使用することで、面積は限定されるものの低コストで即時的に森林情報を得られる可能性がある。そのため、令和元年度以降、UAVから高精度で森林情報を取得するための技術を開発し、UAVを用いて既に設定したモニタリング区域の一部や他の事業実施地において、調整伐後の森林状態を複数年追跡調査することで、調整伐の実施効果を引き続き検証する。名古屋大学との共同研究で実施する。

今年度を実施した内容

平成26年度設定モニタリング区域内(大台町)において令和元年度に設定した3カ所の空撮区域、令和元年度事業実施地などにおいて令和元~2年度に設定した4カ所の空撮区域で空撮を行った(図-3、4)。同時に、各空撮区域内において、精度検証データ取得のため現地で立木の実測調査を行った。得られたデータは共同研究先の大学に提供し、空撮画像解析、森林情報解析技術の開発に取り組んだ(図-5、6)。

今年度の今後の予定

引き続き、得られたデータを用いて森林情報解析技術の開発を行う。UAV画像から解析された森林資源情報から調整伐実施効果を検証する。

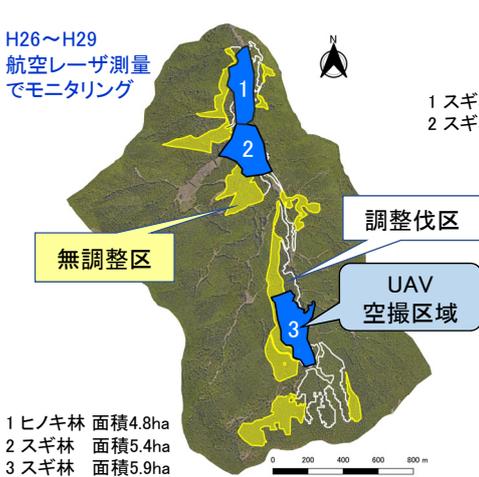


図-3. 平成26年度設定モニタリング区域内に設定した空撮区域の位置

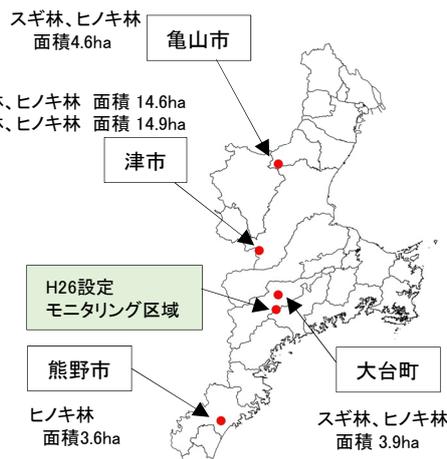


図-4. 事業地に設定した空撮区域の位置

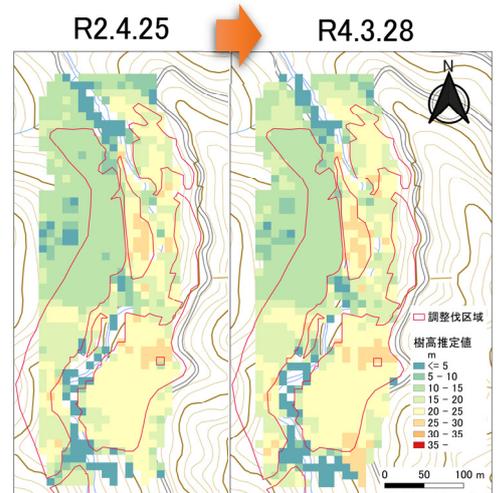


図-5. 解析結果から作成した10mメッシュ樹高マップの例(大台町モニタリング区域1)

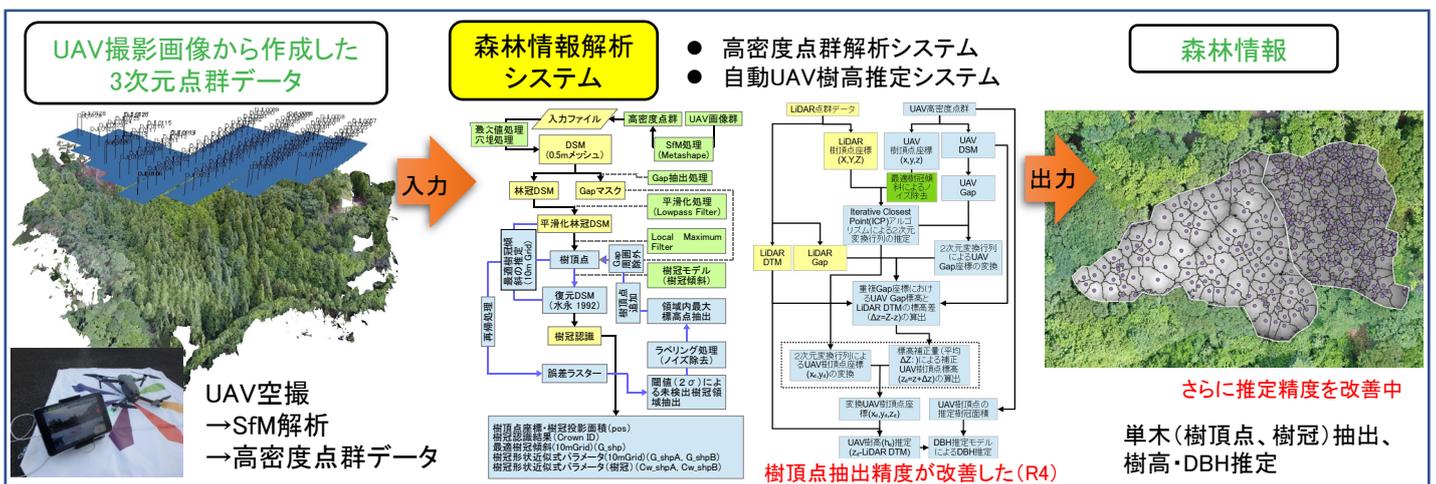


図-6. 開発中のUAVによる森林情報解析技術

項目3 整備森林における危険木発生状況調査 (R1~5)

目的

渓流部で実施している危険木(倒流木)除去による流木発生抑制効果を検証する。

方法

事業により渓流部の危険木除去を行った溪流(既整備溪流)における倒流木発生の実況について多点調査を行う。また、より効果的で除去効果の持続性が高い整備手法を検討するには、倒流木の発生要因、滞留状況、形態的特性、豪雨等に伴う挙動を明らかにする必要があることから、既整備溪流、未整備溪流に固定試験地を設定して倒流木の移動、発生、消失等のモニタリングを行う。三重大学との共同研究で実施する。

今年度を実施した内容

平成26、27年度に渓流部の危険木除去を行った67箇所の既整備溪流、計36,700mで、再発生した倒流木等を調査した結果を解析した(図-7)。再発生した倒流木の材積は除去材積と比較してわずかであり、除去効果は長期間、維持された(図-8)。倒木の発生要因は、風倒に起因する根返りや幹折れ、渓岸侵食が主要因である溪流が多く、これらの発生を防ぐことが森林を管理する上で重要である(図-9)。また、流木の発生・流下は溪流の流路幅に影響を受けており、流路幅の狭い溪流内には流木が長期間滞留する危険性があることから、流木被害対策として本事業のように渓流部の倒流木等を除去することが有効であることがわかった。

今年度の今後の予定

令和元~2年度に設定した固定試験地(既整備溪流4、未整備溪流2)において、冬季の湯水期に追跡調査を行い、危険木の発生、消失、移動状況を調査する(図-10)。得られたデータの解析を行い、危険木除去による流木発生抑制効果を検証する。

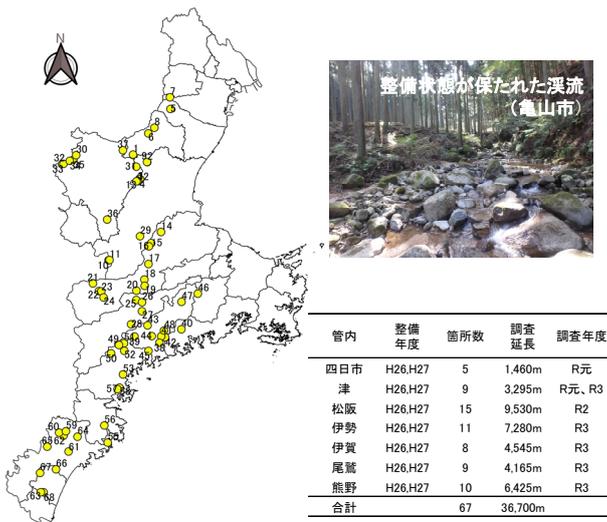


図-7. 既整備溪流の多点調査位置

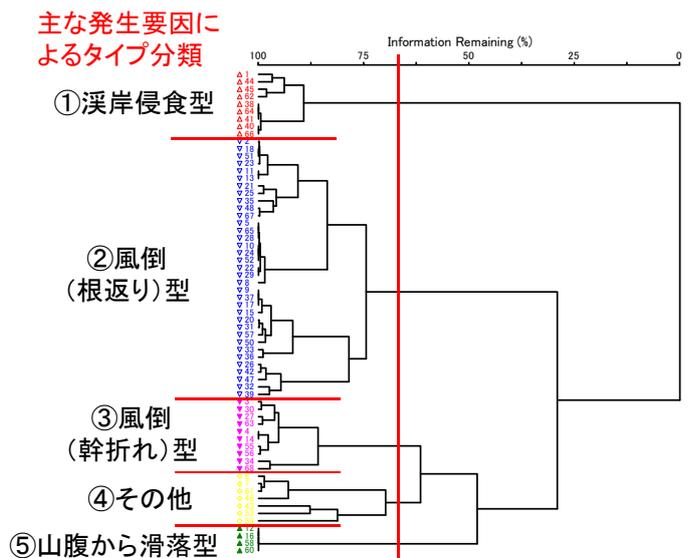


図-9. クラスター分析を用いた倒木の発生要因による既整備溪流の分類

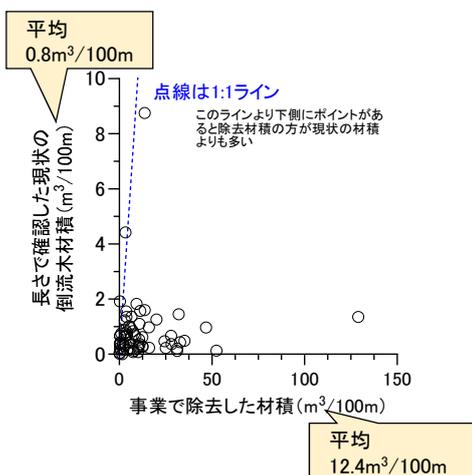


図-8. 各事業地の倒流木除去材積と現状材積の関係(67カ所)

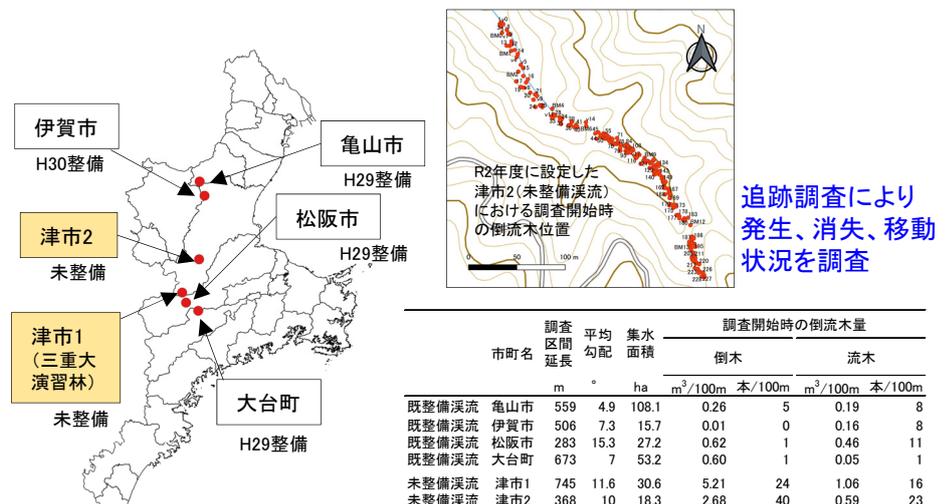


図-10. 固定試験地の位置と概要

③：森林情報基盤整備事業

担当課：森林・林業経営課

基本方針：① 災害に強い森林づくり

対策区分：① 土砂や流木による被害を出さない森林づくり

1 事業の目的

航空レーザ測量を実施して、詳細な森林資源情報を把握することで、効率的な森林管理を促進するとともに、精度の高い3次元地形データを取得して、災害発生の危険性の高い地域等を客観的に把握することで、災害に強い森林づくりを効果的に進めます。

また、航空レーザ測量によって把握できる尾根、谷等の詳細な地形や林相界等の情報を森林クラウドにより市町と共有することで、市町による森林の適正な管理の実行につなげます。

2 事業の必要性

緊急に整備が必要な森林や、山地災害や流木被害の発生の恐れのある森林を効率的に把握し、災害に強い森林づくりを着実に進めるためには、航空レーザ測量を実施して、樹種、樹高、立木密度、材積等の詳細な森林資源情報や、尾根、谷等の精度の高い微細な地形情報等を効果的に取得する必要があります。

また、所有者の関心の低い森林や、境界が不明な森林等において、手つかずの状態になることを防止するため、森林境界の明確化につながる情報の把握に努める必要があります。

3 事業の内容

航空レーザ測量の実施によるデータ取得と森林資源解析により、早急に整備が必要な森林の抽出等を行います。

- (1) 航空レーザ測量 ※レーザ照射点密度 4 点/m²
 - ・三次元計測データ、グリッドデータ、写真地図データ、等高線データ等を作成
- (2) 森林資源解析
 - ・林相区分データ作成
 - ・単木解析（樹木本数、単木毎の位置、樹高、樹冠幅、樹冠長、胸高直径、材積等の把握）
 - ・林分解析（平均胸高直径、平均樹冠長、総材積、平均形状比、平均樹高、立木本数密度、収量比数、相対幹距比等の算出）
- (3) 成果品：森林GISの主題図として、傾斜区分図、立体地形表現図、森林資源解析図を作成

令和 4 年度事業計画

測量面積	予算額 (千円)	事業実施区域
約 370 km ² (3万7千 ha)	100,000	尾鷲市、御浜町、紀宝町、津市、 紀北町

1. 尾鷲市 測量予定区域



航空レーザ測量区域：赤枠箇所
 森林資源解析区域：赤枠+橙枠箇所のうち
 5条森林箇所

2. 御浜町、紀宝町 測量予定区域



航空レーザ測量区域：赤枠箇所
 森林資源解析区域：赤枠+橙枠箇所のうち
 5条森林箇所

3. 津市 測量予定区域



4. 紀北町 測量予定区域



森林教育体制整備事業

担当課：林業研究所 普及・森林教育課

基本方針：②県民全体で森林を支える社会づくり

対策区分：③森を育む人づくり

1 事業の目的

「森林や木材が暮らしや経済に当たり前に取り入れられている社会づくりへ向けた教育」、「森林に関わる活動やビジネスを志すきっかけとなる教育」、「自ら考え、判断して行動する力を育む森林教育」に取り組むことで、「みえ森林教育ビジョン」を実現し、「県民全体で森林を支える社会づくり」を推進します。

2 令和4年度事業の概要

(1) 森林教育イベントの開催

【みえ森林教育シンポジウム】

日時：令和5年2月4日(土)10時～16時（開催予定）

場所：三重県総合文化センター 中ホール及び男女共同参画棟

目的：みえ森林教育の取り組みを県内でより一層推進していくため、教育・保育関係者をはじめ、参加者の交流を図り、様々な情報を共有する場を設けることで、森林教育への理解を深め、「県民全体で森林を支える社会づくり」を推進します。

参加者：森林教育・学校教育・幼児教育・保育等関係者、森林教育に関心のある県民

内容：実践者による事例発表をふまえたテーマ別のワークショップや親子で参加できる体験教室、「森や自然にふれる学び、育みのこれから」をテーマとした有識者によるトークセッション、子どもたちの自然での原体験・実体験の大切さをテーマとした講演会などを行い、森林教育への理解を深めます

(2) 森林教育プログラム等の開発・実践

「みえ森林教育ビジョン」を実現し、子どもから大人まで一貫した教育体制を構築するため、これまでの取組に加え、主体的・対話的な学びを取り入れた教育手法の体系化を図るとともに、取組手法の1つとして、小学校の学習指導要領に適合した「みえ森林ワークブック」を作成し、令和5年度に県内の小学校や関係機関へ配布します。

① 子ども向け講座

【ジュニアフォレスター育成講座】

実施日：全 5 日間

令和 4 年 11 月 23 日(土)、12 月 3 日(土)・4 日(日)

令和 5 年 1 月 14 日(土)・15 日(日) (予定)

場所：三重びよクエの森 (三重県民の森)

目的：森林や自然、野外活動等に関心のある子どもたちの学びの意欲をさらに高揚し、森林・林業及び持続可能な社会への理解を促進するとともに、子供たちの創意工夫や適応力、寛容さなどを養い、「生きる力」を育みます。

参加者：15 名 (小学 4 年生から 6 年生)



11 月 23 日 (1 日目)
模擬伐倒の体験の様子



12 月 3 日 (2 日目)
樹高の測り方を学んでいる様子

【指導者養成講座】

実施日・場所：全 7 日間

令和 4 年 11 月 5 日(土)国立曽爾青少年自然の家

令和 4 年 11 月 20 日(日)速水林業大田賀山林

令和 4 年 12 月 3 日(土)・4 日(日)三重びよクエの森 (三重県民の森)

令和 4 年 12 月 18 日(日)三重県林業研究所

令和 5 年 1 月 14 日(土)・15 日(日)三重びよクエの森 (三重県民の森)

目的：「自ら考え、判断して行動する力を育む森林教育」を進めていくため、森林をフィールドに子どもの「生きる力」を育むことのできる指導者を育てます。

参加者：12 名 (森林教育指導者として活動する意欲のある方)



11月20日(2日目)
速水林業での講座の様子



12月18日(5日目)
たき火の実習の様子

② 学生向け講座

【みえ森林教育 学生ワークショップ～森や木や自然にふれあい、学び、育む教育・保育を考えよう～】

実施日・場所：全3日間

令和4年10月29日(土)三重県林業研究所

令和4年10月30日(日)三重びよクエの森(三重県民の森)、
森の風こども園

令和4年11月12日(土)速水林業太田賀山林

目的：将来森林教育に携わりたいと考える学生などを対象に、森林や木、自然にふれあいながら学び育む教育・保育について考えます。

参加者：8名(森林教育に関心のある学生等)



10月29日(土)(1日目)
三重県林業研究所



10月30日(日)(2日目)
森の風こども園

③ 企業向け講座

【みえ森林教育 起業講座 SDG s時代の企業における森林とのつきあい方について考える Vol.2～三重の資源、森と木をどう活かすか～】

実施日・場所：全2日間

令和4年9月27日(火)速水林業太田賀山林

令和4年11月11日(金)三栄林産、かぶとの森テラス

目的：企業（事業者）を対象に、代々手入れされてきた林業地を見学することで森林を知る体験や、森林の現状や森林を活用することの意義などについて学び、企業が森林との結びつきやビジネスチャンスなどを考える機会を創出します。

参加者：10名（一般企業、経営者等）



9月27日(火) (1日目)

速水林業太田賀山林



11月11日(金) (2日目)

かぶとの森テラス

④ 幼児教育関係者向け交流会

実施日：令和5年2月4日(土) (予定)

場所：三重県総合文化センター 男女共同参画棟 セミナー室 A

目的：全国的に広がりを見せている森林や自然を活用した保育・幼児教育をテーマとした交流会を開催し、保育・幼児教育における森林教育の課題解決に取り組みます。

また、幼児教育の現場で森林教育が効果的に実施されるよう、8月に森林教育アドバイザー派遣制度をスタートし、11月16日に名張市へアドバイザーを派遣しました。

参加者：保育園・幼稚園の保育士等



11月16日名張市防災センター
「保育研修～自然体験保育実践に向けたポイント～」

⑤ みえ森林ワークブックの制作

目的：学習指導要領に対応した、教育現場で活用できる森林ワークブックを作成し、これを学校学習の中で活用することで、小学校に通うすべての子どもたちが森林の持つ多面的機能や、森林保全の重要性、木材利用の意義を理解するとともに、森林や木・木材に親しみ、自ら判断して行動できる人づくりを進めます。

対象：小学5年生社会科及び小学6年生理科

※ 令和5年2月発行、令和5年度配布予定



9月16日(金)三重県合同ビル
有識者による第2回森林ワークブック制作検討会の様子

⑥ 副読本等の作成

目的：小学校 5 年の社会科教科書に対応した副読本と、学校指導要領に沿ったみえ森林ワークブックを作成し、森のはたらきや緑の循環、木材利用の意義などへの理解を深めます。

対象：県内の小学 5 年生、他



R3 発行 副読本「三重の森林とわたしたちの暮らし」

(3) 森林教育ステーションの認定

県民の皆さんに森づくりの大切さや木材利用の意義を広く普及するため、木製遊具や玩具に触れ、森林・林業について学べる常設型の森林教育施設として認定します。令和4年度は、7月7日にふらここひろば hanare (紀北町) の1か所を認定しました。また、7つの施設において、認定に向けた手続きを進めています。



ふらここひろば hanare (紀北町) R4.7.7 認定

3 情報発信

実施した取組が、みえ森と緑の県民税を活用していることとあわせて、森林の適切な管理を行うことで「災害に強い森林づくり」を実現し、地域木材を利用するなど「県民全体で森林を支える社会づくり」の重要性について周知を図っています。

森林をフィールドに子どもの「生きる力」を育む 指導者養成講座

自然体験活動指導者 (NACAL ティーチング) 資格取得可能カリキュラム

自然体験活動指導者 (NACAL ティーチング) 資格取得可能カリキュラム

11.5時、11.20時、12.3時、12.4時、12.18時、1.14時、1.15時

■ 日 期：全7回 (1回・講座内容は要綱の上から)

■ 講 師：国立自然少年自然の家 企画指導者(講師、高尾山地区 (11月20日以外)、湯水林地区 (11月20日以外))

■ 対 象：次の条件を満たす方
 ・「自然体験活動指導者 (指導者養成講座)」を受講している18歳以上の方
 ・教員・保育関係者 (志望者含む)、森林教育指導者、自然体験活動指導者又は自然体験に関する活動を実施されている方
 ・無料、全日程参加可能

■ 集 団：10名程度 (申込先着順)

■ 申込先：各回のQRコード、三重県林業研究会ホームページ、みえ森林・林業アカデミーフェイスブックページから申込フォームにアクセスして必ず申し込みください。
 ※開催中は、下記に電話で申込受付可です。最終締め切りまでご連絡ください。

■ 申込先：令和4年11月1日 (土) 17:00

■ 講 座：① 導入・基礎研修 (1回) 申込人数が定員に達した場合は、申込を早期に締め切る場合があります。
 ② 子どもを安全に育てるための自然体験活動の基礎知識を学び、送迎の運営方法や指導者の子どもとの関わり方について実際に学びます。
 ③ 講師・指導者 (申込先着順) 森林・林業での自然体験活動の意義や指導者としての役割、対象者理解、安全管理等について学びます。
 ④ 実践 (申込先着順) 講師や指導者、実習生が中心となり、第五紀国小中学校を対とした森林教育講座「ふらここひろば」を開催講座。1回1日の時間に関する活動のスタッフとして運営に関わります。

■ 主 催：三重県 協 賛：(株) 国立自然少年自然の家 国立自然少年自然の家

国立自然少年自然の家 自然体験講座 申込先着順 申込先着順 申込先着順 申込先着順 申込先着順 申込先着順 申込先着順

059-422-2202 FAX:059-422-2202 059-422-2202

みんなで作るみえの森林づくり

みえ森と緑の県民税

この取組には「みえ森と緑の県民税」が活用されています。

ilmief2@pref.mie.lg.jp

講座の案内チラシに「みえ森と緑の県民税」を活用して講座が実施されていることを記載。



講座の会場に
「みえ森と緑の県民税」の
のぼりを設置し、
県民税の周知を図る。



みえ森林教育ステーションの
認定証にロゴマークを入れ
利用者に県民税の周知を図る。

みえ森づくりサポートセンター運営事業

担当課：林業研究所 普及・森林教育課

基本方針：②県民全体で森林を支える社会づくり

対策区分：③森を育む人づくり

1. 事業の目的

森林教育や森づくり活動に携わる人材の育成を図るとともに、これらの活動に地域や学校等で取り組みやすい体制を整えることで、「県民全体で森林を支える社会づくり」を推進します。

2. 令和4年度事業の概要

学校や地域で実施される森林教育や森づくり活動にかかる相談窓口となる「みえ森づくりサポートセンター」を運営し、森林教育や森づくり活動に対する、広域的・総合的なサポートを行います。

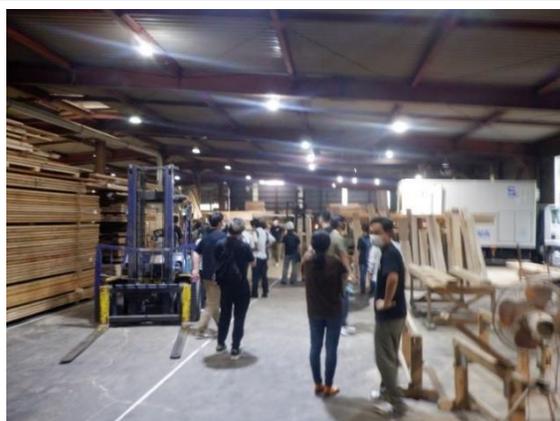
(1) 森林教育指導者や学校関係者を対象とした養成講座の開催

学校や地域での課題を踏まえ、森林教育の取組が幅広く推進されるよう「地域講座」(5回)や、指導者(森のせんせい)のスキルアップを目的とした「森のせんせいスキルアップ講座」(3回)、学校での森林教育の取組促進を図るため、県教育委員会事務局との共催により学校教職員を対象とした研修(1回)を実施し、指導者の育成を図りました。

1月14日(土)には6回目の「地域講座」を開催します。

講座名	開催日	開催場所	募集人数	受講人数
森林教育指導者養成講座：地域講座（6回中5回実施済み）				
【伊賀地域】技術編	令和4年 5月15日(日)	伊賀上野びよクエの森 (上野森林公園)(伊賀市)	10名	10名
【松阪地域】知識編	令和4年 6月26日(日)	松阪市飯高林業総合センター、 月出の中央構造線周辺森林(松阪市)	15名	14名
【松阪地域】 野外活動安全管理編	令和4年 7月17日(日)	松阪市森林公園(松阪市)	15名	13名
【四日市地域】 木育初級編	令和4年 7月23日(土)	三重びよクエの森(三重県民の森) (菟野町)	20名	16名
【東紀州地域】 見学編②(流通・加工)	令和4年 9月17日(土)	熊野原木市場協同組合、 (株)野地木材工業(熊野市)	15名	14名
【松阪地域】 見学編①(森林・林業)	令和5年 1月14日(土)	叶林業所有森林、宮前小学校 (松阪市)	15名	予定

森のせんせいスキルアップ講座（3回実施済み）				
LEAF ローカルインストラクター編	令和4年 11月26日(土) 11月27日(日)	(株)ひのき家及び周辺山林（大紀町）	10名	3名
コミュニケーション編	令和4年 9月3日(土) 9月4日(日)	登茂山公園（志摩市）	15名	5名
木育中級編	令和4年 11月20日(日)	いなべ自然楽校（いなべ市）	10名	14名
学校教育関係者対象の研修（1回実施済み）				
学校教職員森林環境教育研修	令和4年 7月29日(金)	三重県総合博物館 MieMu	20名	20名



9月17日(土)森林教育指導者養成講座
(見学編②流通・加工)



9月4日(日)森のせんせいスキルアップ講座
(コミュニケーション編)

(2) 森の学校の開催

指導者の実践の場として、森林や木について楽しく学べることをテーマに、森のせんせいが講師となり森林散策や木工体験等を行う「森の学校」をこれまでに29回開催しました。

【森の学校開催一覧】

番号	開催場所	開催日	森の学校名	参加者数
1	イオンモール東員	4月2日(土)	森の標本箱作り	20人
2	イオンモール東員	4月3日(日)	丸太切り体験、 コースター作り	41人
3	高田短期大学	5月15日(日)	竹林整備、竹の小物作り	10人
4	高田短期大学	5月15日(日)	竹林整備、 スタードーム作り	15人

5	イオンモール鈴鹿	5月21日(土)	三重県産材でイス作り	17人
6	イオンモール鈴鹿	5月22日(日)	木と貝がらのちょうちょブローチ作り	48人
7	イオンモール明和	6月11日(土)	三重県産材で作る森の標本箱作り	31人
8	イオンモール明和	6月12日(日)	葉っぱで遊ぼう	36人
9	イオンモール津南	6月18日(土)	木のペンダント作り	21人
10	イオンモール津南	6月19日(日)	三重県産材で作る森の標本箱作り	27人
11	イオンモール四日市北	7月2日(土)	小径木のコースター作り	33人
12	イオンモール四日市北	7月3日(日)	ねじり組コースター作り	40人
13	イオンモール桑名	7月9日(土)	ねじり組コースター作り	40人
14	イオンモール桑名	7月10日(日)	木のバードコール作り	32人
15	松阪市森林公園	7月10日(日)	木のペンダント作り	52人
16	四日市塩浜児童館	7月30日(土)	カホン作り	17人
17	四日市塩浜児童館	7月30日(土)	木のバードコール作り	20人
18	県立みえ子どもの城	8月7日(日)	夏の自然観察会	26人
19	県立みえ子どもの城	8月7日(日)	小さな夏の生き物観察会	19人
20	県立みえ子どもの城	8月7日(日)	間伐材でポールハンガーづくり	22人
21	県立みえ子どもの城	8月7日(日)	竹のおもちゃ作り	41人
22	三重県環境学習情報センター	8月11日 (木・祝)	竹のこと知ってる？竹を使って工作の技を学ぼう！	36人
中止	松阪農業公園 ベルファーム	9月18日(日)	県産スギのイス作り	台風接近
中止	松阪農業公園 ベルファーム	9月19日 (月・祝)	マイ箸作り	〃
23	イオンモール東員	9月23日 (金・祝)	スケルトンリーフを作ろう	51人
24	イオンモール東員	9月24日(土)	森の妖精を作ろう	36人

25	イオンモール東員	9月25日(日)	間伐材で本立てを作ろう	41人
26	県営サンアリーナ	10月10日 (月・祝)	マイ箸作り	57人
27	松阪市森林公園	10月16日(日)	バードコール作り	80人
28	松阪農業公園 ベルファーム	10月29日(土)	マイ箸作り	54人
29	松阪市森林公園	12月11日(日)	クリスマスツリー、 森のサンタさん作り	66人



10月10日(月・祝) 森の学校 in 伊勢市環境フェア

(3) 森林教育指導者等への活動支援

① 森のせんせいの登録及びネットワーク化

森林教育の指導者を森のせんせいとして登録するとともに、森のせんせい等森林教育の指導者のネットワークを構築するため、県内3か所で座談会を開催します。

② 物品の貸出

森のせんせい、森づくり活動団体、市町及び県を対象に、森林教育活動や森づくり活動に必要な物品等の貸出を行います。

【貸出物品の一例】



イヤーマフ付きヘルメット



(4) 学校現場における森林教育の支援

① 出前授業の実施(10 回程度)

市町、学校、保育所等における森林教育を支援するため、学校等からの要望に応じ、指導者の紹介やプログラム提案等を行い、出前授業を実施します。

令和4年度は21か所から応募があり、選考会の結果12か所での実施を予定しており、これまでに11か所で実施し、1月18日(金)に1か所で実施を予定しています。

【出前事業実施個所一覧】

市町	開催場所	内容	開催日
桑名市	深谷教育集会所	地域の木や森林のおはなし キーホルダーやメダル作り	8月9日 (火)
木曾岬町	木曾岬小学校	森林や林業のおはなし 学校内のビオトープで樹木、植物観察	11月15日 (火)
津市	安濃小学校	木を使う意義や森林と共に暮らすこと についてのおはなし 木の実や枝葉を使った木工工作	9月26日 (月)
松阪市	松尾小学校	森の働きのおはなし 県産材を使った木工工作など	12月2日 (金)
明和町	修正小学校	森林や林業のおはなし キーホルダー作り	12月13日 (火)
伊勢市	中島小学校	森林や林業のおはなし 丸太切り体験とコースター作り	10月4日 (火)
伊勢市	みなと小学校	森と木や、豊かな海と森林のはなし 地域の木を使った木工工作	9月28日 (水)
伊勢市	豊浜東小学校	森林や林業、木を使う意義のおはなし 丸太切り体験とコースター作り	11月10日 (木)
伊勢市	皇学館中学校	林業の現状や森林の働きとSDGsの おはなし、カンナでマイ箸作り	9月20日 (火)
南伊勢町	南勢中学校	三重の森林や林業の現状と課題、森で 働く人のおはなし、 地域の間伐材を活用した箸作り	1月18日 (金) (予定)
志摩市	神明小学校	森林の働きのおはなし 県産材のキーホルダーとペンダント作り	7月12日 (火)
名張市	特別支援学校伊賀 つばさ学園中学部	針葉樹、広葉樹の特徴、生活に使われ ている木のおはなし、木工体験	7月8日 (金)



9月20日(火)皇學館中学校



9月28日(水)伊勢市立みなと小学校

② 森林教育活動のコーディネート

森林教育活動を希望する市町、学校、保育所等からの要望に応じ、指導者の紹介やプログラム構築等のコーディネートを行っています。



10月6日(木)明和町立下御糸小学校



10月28日(金)伊勢市立上野小学校

(5) みえの森フォトコンテスト及び森の写真教室の実施

写真撮影を通して森林や木に親しみ、その大切さを知ってもらうことを目的に、「三重の森林」をテーマとした写真コンテストを実施し、小学生以下の部に48名101点の、中学生以上の部に86名208点の応募があり、11月9日(水)の審査会において、小学生以下の部及び中学生以上の部ともに、最優秀賞1点、優秀賞3点、入賞10点を選出しました。

また、7月24日(土)に三重県総合博物館 MieMu にて「森の写真教室」を開催し、7組16名の親子が参加しました。



小学生以下の部 最優秀賞作品
「森の光」



中学生以上の部 最優秀賞作品
「木になりたい」

(6) 森づくり活動の支援

① 県民参加の植樹祭の実施

広く県民に呼びかけ、森林を育む気持ちを知っていただき、県民参加の森づくりを推進することを目的に、令和5年3月の『県民参加の植樹祭』開催に向けて準備を進めています。

② 森づくり活動支援講座の開催

地域で森づくり活動をさらに活発化するため、安全・安心な活動に向けた森づくりに関する講習会を開催し、三重県内で森づくり活動をしている15名が参加しました。

【座学】 森林作業をする上での安全衛生講習

6月4日(土) 9:00~16:00 中勢森林組合会議室

【実技講習(刈払い機)】

6月5日(日) 9:00~12:00 三重県林業研究所構内

【実技講習(チェーンソー)】

6月5日(日) 13:00~16:00 三重県林業研究所構内

③ 森づくり活動団体等からの相談対応等

森づくり活動団体等からの相談対応や、市町における事業構築にかかる提案を行っています。

(7) 森林教育・森づくりに関する情報発信

① 活動事例集の作成・配布

学校等において、森林教育の導入や取組の参考となるよう、県内で実施された森林教育活動の取組を取りまとめた事例集を作成します。

作成した事例集は、県内小中学校や関係機関へ配布するとともに、その内容をみえ森づくりサポートセンターのホームページに掲載しています。

② 森林づくりニュースの発行

県内における森林教育や森づくり活動に関する季刊誌をこれまでに3回発行し、今後1回発行をします。市町や森林教育関係施設及び森のせんせいなどに配布するとともに、その内容をみえ森づくりサポートセンターのホームページに掲載しています。



③ ホームページやSNSを活用した情報発信

県内における森林教育や森づくり活動に関する情報や、この事業がみえ森と緑の県民税を活用して実施していることを、みえ森づくりサポートセンターのホームページやフェイスブック、インスタグラムを活用して発信しています。



みえ森づくりサポートセンターのホームページ



みえ森づくりサポートセンターのフェイスブック



みえ森づくりサポートセンターのインスタグラム

④ 相談対応

市町や学校、森林教育指導者（森のせんせい）等からの森林教育や森づくり活動に関する相談に随時対応し、活動のコーディネートや森林教育に関する情報収集、普及啓発を行っています。

④一ウ: 森林教育施設整備事業

担当課: 林業研究所 普及・森林教育課

基本方針: ②県民全体で森林を支える社会づくり

対策区分: ④森と人をつなぐ学びの場づくり

1 事業の目的

県民の皆さんがいつでも利用できる森林教育の活動フィールドや木製遊具などが常設された施設等を整備し、森林・林業、木材利用への理解を深め、意識の醸成を図ることで、「県民全体で森林を支える社会づくり」を推進します。

2 令和4年度事業の概要

(1) 三重県民の森みえ森林教育ステーションの運営

三重県民の森のみえ森林教育ステーションにおいて、感染症対策に努めながら、ステーションの適正な運営を行うとともに、定期的に森林教育にかかるイベント等を実施しています。



利用の様子



イベントの開催状況



季節ごとの展示解説

(2)三重県林業研究所みえ森林教育ステーションの整備

三重県林業研究所の樹木園などの野外フィールドについて、みえ森林教育ステーションとして森林教育活動が行えるフィールドへの再整備を検討しています。

対象地の面積及び想定する整備内容

No.	名称	面積(ha) (参考)	想定する整備内容(検討中)
1	樹木図鑑園	0.48	樹木の整理、植栽、樹形・樹勢・植生の回復、園路の改修
2	機械練習場	0.38	重機等の操縦や林業作業の実習のスペースを整理するとともに、プレーパークとして広場を整備
3	庭園	0.20	樹木の整理、植栽、多目的広場の設置
4	炭焼き窯跡	0.03	実習等で使用する炭焼き窯の設置
5	芝生広場	0.25	植え込み・生垣の整理、不陸整正、焚火場の設置、記念碑の移設、植栽、芝張り直し
6	樹木園	0.19	樹木の整理、植栽、樹形・樹勢・植生の回復
7	苗畑	0.08	多目的広場の設置
8	道形	0.03	苗畑への進入路(砂利敷き等)として整備
9	採種園跡	1.24	地域植生の復元、野外活動フィールドとして整備、休憩用仮設工作物等の設置

⑤：生物多様性推進事業

担当課：みどり共生推進課

基本方針：②県民全体で森林を支える社会づくり

対策区分：⑤地域の身近な水や緑の環境づくり

1 事業の目的

活動団体や県民・事業者・行政などが連携して取り組む生物多様性の重要性に関する普及啓発や自然環境保全活動を推進し、県民みんなで森林生態系等の生物多様性の保全が図られる体制づくりを行うことで、森・川・海のつながりを意識した森林や緑、水辺環境を守り、生物多様性の保全を図ります。

2 事業の必要性

県では、これまで、地域の特性を踏まえた生物多様性の保全を進めるための地域戦略である「みえ生物多様性推進プラン」の取組方針に沿って、生物多様性に関する理解の促進を図るとともに、県民による地域の自然を守る保全活動など、地域と連携した取組を進めてきました。

その結果、自然環境の保全に取り組む活動団体数や希少種等の保全活動実施数が増加するなど、一定の成果が得られました。

一方で、近年、大規模な自然地の開発が増加しているほか、管理不足の里山等の増加、外来生物の増加など、森林生態系の置かれている現況は依然として厳しい状況にあります。

そのため、これまでの取り組みをさらに進めるとともに、今後は様々な主体と協力しながら生物多様性の保全に取り組んでいく必要があります。

3 事業の内容

県内各地における自然環境に関する保全活動の活発化や開発事業に対する環境配慮の促進のためには、県民や事業者の生物多様性についての正しい理解が不可欠です。そのためには自然環境や野生動植物に関する情報やデータベースが必要であり、希少動植物の情報などを取りまとめた「三重県レッドデータブック2015」がその基礎資料として広く活用されています。しかし、この「三重県レッドデータブック2015」は発行から7年が経過しており、近年では森林及び里山地域での太陽光発電施設等の開発が増加していることから、内容に現状との乖離が生じていると思われます。レッドデータブックが将来にわたり基礎資料としての精度を維持していくには、野生動植物の生息状況の変化等を踏まえた一定期間ごとの見直しが必要です。

そこで、レッドデータブックの改訂に向けて、“絶滅のおそれ”に関する評価基

準の設定、評価が必要な種のリストアップ、それらの種の生息状況調査を行います。また、県民への生物多様性やレッドデータブックについての普及啓発のため、自然観察会等を行います。

引き続き、自然環境保全活動の支援として、自然環境保全団体への専門家派遣や合同での調査・保全活動を行います。

4 令和4年度生物多様性推進事業の進捗状況

(1) 野生生物の生息状況調査

生物多様性推進施策に必要な野生動植物種の基礎情報を把握するため、野生鳥類（ガン類、カモ類、ハクチョウ類、カワウ）の生息状況調査を実施します。（1月以降実施予定）

(2) 希少種評価対象リストの作成・調査

「三重県レッドデータブック2015」の改訂に向けて、業務委託により、評価対象種の選定及び生息状況調査を進めています。

三重県レッドリスト改訂案(哺乳類)							
▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼
	目名	科名	和名	学名	新カテゴリ	旧カテゴリ	環境
1	食肉目	イヌ科	オオカミ	<i>Canis lupus</i>	EX	EX	EX
2	食肉目	イタチ科	カワウソ	<i>Lutra lutra</i>	EX	EX	EX
3	食肉目	アシカ科	ニホンアシカ	<i>Zalophus japonicus</i>	EX	EX	CR
4	食虫目	トガリネズミ科	シントウトガリネズミ	<i>Sorex shinto</i>	CR	CR	—
5	◇	翼手目	ヒナコウモリ科	ヒメオビゲコウモリ	EN	DD	—
6	◇	翼手目	オヒキコウモリ科	オヒキコウモリ	EN	DD	VU
7	食肉目	クマ科	ツキノワグマ	<i>Ursus thibetanus</i>	EN	EN	LP
8	食虫目	トガリネズミ科	カワネズミ	<i>Chimarrogale platycephala</i>	VU	VU	—
9	食虫目	モグラ科	ヒメヒメズ	<i>Dymecodon pilirostris</i>	VU	VU	—
10	↓	翼手目	ヒナコウモリ科	ノレンコウモリ	VU	CR	VU
11	↓	翼手目	ヒナコウモリ科	ウサギコウモリ	VU	EN	—
12	↓	齧歯目	リス科	ニホンモモンガ	VU	EN	—
13	↓	齧歯目	ネズミイルカ科	ヤチネズミ	VU	VU	—
14	↑	偶蹄目	ウシ科	カモシカ	VU	NT	—
15	クジラ目	ネズミイルカ科	スナメリ	<i>Neophocaena phocaenoides</i>	VU	VU	—
16	↓	翼手目	キクガシラコウモリ科	コキクガシラコウモリ	NT	VU	—
17	↓	翼手目	ヒナコウモリ科	ユビナガコウモリ	NT	NT	—
18	↓	翼手目	ヒナコウモリ科	テングコウモリ	NT	VU	—
19	↓	齧歯目	リス科	ニホンリス	NT	NT	—
20	↓	齧歯目	ヤマネ科	ヤマネ	NT	VU	—
21	↓	翼手目	ヒナコウモリ科	コテングコウモリ	DD	DD	—
22	↓	翼手目	ヒナコウモリ科	ヤマコウモリ	DD	DD	VU
23	↓	翼手目	ヒナコウモリ科	ヒナコウモリ	DD	DD	—



図. 希少種評価対象リストのイメージ図
写真. 三重県レッドデータブック2015

(3) 自然環境保全活動の支援

生物多様性保全活動について、専門家の派遣を行うなどにより支援を行いました。(表1参照)

表1. 自然環境保全活動の実施状況

対 象 種	活 動 時 期	実 施 内 容
マメナシ	令和4年 4月	保全活動団体、専門家とともに調査および保全活動を行った。
ギフチョウ	令和4年 4月	保全活動団体とともに調査を行った。
アゼオトギリ	令和4年 6月	保全活動団体、専門家とともに保全活動を行った。
マイヅルテン ナンショウ	令和4年 6月	保全活動団体、専門家とともに調査を行った。
ハルサキヤマガラシ (外来種)	令和4年 6月	保全活動団体とともに駆除活動を行った。
ため池の外来種	令和4年 11月	保全活動団体とともに駆除活動を行った。



写真. 保全活動の実施状況 (マメナシ)



写真. マメナシの花

森林とふれあう自然公園環境整備事業

令和4年12月末現在

1. 事業の目的

地域の活動団体や市町等と連携し、自然公園や森林公園を活用した森林教育のイベントやガイドツアーなどの推進と、自然公園や森林公園にある歩道等の施設整備を行うことにより、県民が森林や緑と親しむ機会を創出し、身近な緑や水辺の環境と県民との関係を深めます。

2. 令和4年度事業進捗

1) 森林にふれあう活動の推進

県民が森林とふれあう機会を増大するため、県内にある自然公園内の園地や歩道、森林公園を活用して自然観察ツアーや森林教育イベントを行い、豊かな生態系の観察や森林のはたらきを伝えると共に、一人ひとりが健やかな森林を次世代に引き継ぐ大切さを感じることができる「県民全体で森林を支える社会づくり」のための自然教育と施設整備を行いました。

◆自然公園・自然歩道での取組状況



自然観察ツアー

ウォーキングツアーの状況



自然観察ツアー

ツアーガイドからの説明状況



自然観察ツアー

サイクリングツアーの状況



自然観察ツアー

ツアーガイドからの説明状況



森林教育イベント（植樹体験）

参加者による植樹状況
（自然環境保全活動）



森林教育イベント（植樹体験）

参加者による植樹状況
（自然環境保全活動）



森林教育イベント（植樹体験）

参加者による植樹状況
（自然環境保全活動）



森林教育イベント（植樹体験）

参加者による植樹状況
（自然環境保全活動）

◆大杉谷登山歩道での取組状況



自然観察ツアー&ボランティア整備
ガイドからの説明状況（森林教育）



自然観察ツアー&ボランティア整備
ガイドからの説明状況（森林教育）



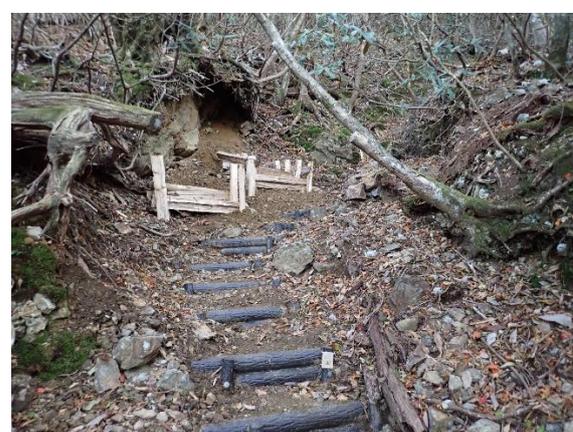
自然観察ツアー&ボランティア整備
参加者による歩道の補修作業状況



自然観察ツアー&ボランティア整備
参加者による歩道の補修作業状況



自然観察ツアー&ボランティア整備
歩道補修（整備後）



自然観察ツアー&ボランティア整備
歩道補修（整備後）



自然観察ツアー&ボランティア整備
参加者によるゴミ拾い作業状況
（自然環境保全活動）



自然観察ツアー&ボランティア整備
集められたゴミ
（自然環境保全活動）

森林教育実績及び予定

令和 4 年 1 2 月 3 1 日 現在

自然公園名	自然公園施設名	実施場所	実施日	参加人数	内容
伊勢志摩国立公園	近畿自然歩道	伊勢市	9月24日	6名	自然観察と文化歴史ツアー（二見町ウォーキング）
伊勢志摩国立公園	近畿自然歩道	鳥羽市	10月1日	7名	自然観察ツアー（菅島ウォーキング）と海女さんふれあい体験
伊勢志摩国立公園	近畿自然歩道	志摩市	10月23日	22名	自然観察ツアー（麦崎ウォーキング）と魚釣り体験
伊勢志摩国立公園	近畿自然歩道	鳥羽市	11月6日	19名	自然観察ツアー（神島ウォーキング）
伊勢志摩国立公園	近畿自然歩道	鳥羽市	11月19日	48名	森林教育イベント（クラフト体験教室）
伊勢志摩国立公園	近畿自然歩道	鳥羽市	11月20日	12名	森林教育イベント（クラフト体験教室）
伊勢志摩国立公園	近畿自然歩道	鳥羽市 志摩市	12月3日	9名	自然観察ツアー（青峯山ウォーキング）
伊勢志摩国立公園	近畿自然歩道	南伊勢町	12月4日	12名	自然観察ツアー（宿浦・田曾浦の浅間山ウォーキング）
伊勢志摩国立公園	近畿自然歩道及び 横山集団施設地区	志摩市	12月26日（予定）	15名程度	自然観察ツアー（横山園地）と注連縄づくり
伊勢志摩国立公園	近畿自然歩道	志摩市	1月15日（予定）	15名程度	自然観察ツアー（国府散策ウォーキング）
伊勢志摩国立公園	近畿自然歩道	志摩市	1月29日（予定）	15名程度	自然観察ツアー（御座金比羅山と英虞湾巡りウォーキング）
吉野熊野国立公園	大杉谷登山歩道	大台町	8月6、7日	8名	自然観察ツアー（トレッキング）と ボランティア整備（歩道整備、ゴミ拾い）
			10月29、30日	8名	自然観察ツアー（トレッキング）と ボランティア整備（歩道整備、ゴミ拾い）
鈴鹿国定公園	御在所岳園地	菟野町	9月11日	55名	森林教育イベント（植樹：自然環境保全活動）
吉野熊野国立公園 奥伊勢宮川狭県立 自然公園	大杉谷登山歩道 大杉谷自然の家	大台町	10月23日	18名	森林教育イベント（森林と水のサイクリングツアー）

3. 『みえ森と緑の県民税』による取り組みであることの周知方法

- ・自然観察ツアーや森林教育イベント（以下、イベントという。）の募集チラシや自然公園内での活動ポスター等に、『みえ森と緑の県民税』を活用していることが分かるように周知を行っています。
- ・イベントの参加者に対して、『みえ森と緑の県民税』のパンフレットなどの配布を行い、開催時の最初に参加者に対して、『みえ森と緑の県民税』の目的や認知度確認、並びに参加しているイベントが『みえ森と緑の県民税』の取り組みのひとつであることの周知を行っています。
- ・イベント開催中は、『みえ森と緑の県民税』によるイベントであることが分かるように『のぼり旗』を設置し、イベント参加者以外の方々にもPRを行っています。
- ・植樹活動や施設整備の修繕が行われた箇所には、『みえ森と緑の県民税』を活用して行われたことが分かるように看板やロゴマークの焼印を設置しています。
- ・ホームページやSNSなどを活用してイベントの状況を掲載しています。

◆ イベント開催募集チラシや自然公園内の活動状況ポスターでの周知状況

伊勢志摩エコツアー

二見「御塩浜と御塩殿神社を巡る」
・・・神にささげる塩の道・・・



※このイベントは「みえ森と緑の県民税」をとおし開催します。

優絶命ご上陸の地・伊勢神宮との関係の深い二見ヶ浦を巡ります。二見駅から五十鈴川に出て、川沿いに二見ヶ浦へ、伊勢神宮の御前（みけ）をつくる神宮御園、御塩浜、御塩殿を巡り、二見浦の湧き水を散策。そして、海に浮かぶ「太陽の門（夫婦宮）」で折り返すウォーキングです。初心者の方も参加できますので、ぜひご参加ください。お待ちしております(°)°

開催日時 令和4年 9月24日(土)
9:45集合 15:00頃解散予定
※雨天の場合は、9月25日(日)に延期

集合場所 JR二見浦駅改札前
(伊勢市二見町三津)

コース JR二見浦駅→神宮御園→御塩浜→御塩殿神社→二見滝水浴場(源泉)→二見真玉神社→JR二見浦駅
※神宮御園、御塩浜は共に中に入れません。

参加対象 小学5年生以上で、自力で歩行できる方(小学生は保護者同伴)

持ち物等 お弁当、飲み物、菓子類、タオル、歩きやすい服装
※コロナ対策のため、マスクの着用をお願いします。集合時に検温あります。

参加費 無料 定員 10名

申込方法 下記の申込先にお申込みください。FAXメールの場合は、イベント名、参加者の氏名、住所、生年月日と代表者の電話番号をご記入ください。

申込締切 9月16日(金)まで

申込 伊勢志摩国立公園協会 TEL/FAX 0599-25-2358 メール ise-shima@ise-shima.or.jp

【注意事項】
参加者の事故賠償などは数億ありますが、それによる費用は参加者の負担となります。
自主参加の必要や権限範囲のイベント参加により事前貸付、写真・映像等が使用されることもありますので、ご了承ください。
お申し込みの際にいただいた個人情報については、当該行事のご案内以外に使用しないものとし、その保護に万全を期します。



森は暮らしにつながっている。

森を守ることは暮らしを守ること。
森林づくりを県民みんなの力で。

みえ森と緑の県民税

みえ森と緑の県民税とは、伊勢志摩国立公園の自然環境を保全し、豊かな自然環境を創出し、持続可能な社会を実現するための取り組みです。県民一人ひとりが、自然環境を大切にし、森林づくりに参加することで、自然環境を守り、暮らしを守ります。

チラシやポスターでの周知状況
活動目的やロゴマークなどを記載

◆ イベント開催時に活用したパンフレット

◆ イベント開催中での周知状況





イベント開催中での周知状況

「みえ森と緑の県民税」のぼり旗を設置

◆施設整備を行った箇所での周知状況



自然環境保全活動を行った箇所での周知状況

「みえ森と緑の県民税」の看板を設置



施設整備を行った箇所での周知状況

「みえ森と緑の県民税」ロゴマークを設置

◆ホームページでのイベント実施状況の周知

The screenshot shows the official website of Mie Prefecture. At the top, there is a navigation bar with various categories like '暮らし・環境' (Living/Environment), '防災・防犯' (Disaster Prevention/Crime Prevention), '健康・福祉・子ども' (Health/Welfare/Children), 'スポーツ・教育・文化' (Sports/Education/Culture), '観光・産業・しごと' (Tourism/Industry/Work), 'まちづくり' (Town Planning), and '県政・お知らせ情報' (Prefecture Administration/Information). A search bar is located on the right. Below the navigation bar, the current page content is visible, including a breadcrumb trail: 'トップページ > 暮らし・環境 > 自然環境 > 自然公園 > お知らせ > 『みえ森と緑の県民税』を活用し、宮川ダム湖で森林教育イベントを開催しました！'. The main article title is '『みえ森と緑の県民税』を活用し、宮川ダム湖で森林教育イベントを開催しました！'. The article text mentions that Mie Prefecture is utilizing the 'Mie Forest and Green Prefecture Resident Tax' to support forest education events for social development. It states that the event was held on October 23, 2022 (Sunday) at the 'Miyakawa Dam Lake' area. The event location is described as the vicinity of 'Miyakawa Dam Lake' in Taikō City, Mie Prefecture.

令和4年度 みえ森と緑の県民税市町交付金事業(連携枠)の進捗状況

R4.12.31現在

市町	流域防災機能強化対策事業		森林再生力強化対策事業 (獣害防止施設等整備)		森林再生力強化対策事業 (ニホンジカの捕獲等)	
	事業量 (計画)	進捗	事業量 (計画)	進捗	事業量 (計画)	進捗
津市	91.62ha	実施中 未契約72.44ha 契約済12.87ha 完了6.31ha	4,331m	実施中 補助済3,481m		
松阪市	15.51ha	実施中 契約済15.51ha	9,920m	実施中 補助済8,937m		
多気町	9.29ha	実施中 契約済9.29ha	304m	実施中		
大台町	147.00ha	実施中 契約済147.0ha	7,252m	実施中		
度会町	15.00ha	実施中	307m	補助済307m		
大紀町	14.38ha	契約済14.38ha	929m	実施中		
志摩市	8.42ha	実施中 契約済8.42ha				
伊賀市	120.25ha	実施中 未契約18.69ha 契約済101.56ha				
名張市	13.82ha	実施中 契約済13.82ha				
尾鷲市	2.14ha	完了2.14ha	374m	実施中		
紀北町	(14.14ha)	実施中 契約済14.14ha 現地調査	1,064m	実施中 補助済316m		
熊野市	4.11ha	実施中 契約済4.11ha	1,233m	実施中		
紀宝町	11.85ha	実施中 契約済11.85ha				
計	453.39ha	契約済352.95ha 完了8.45ha	25,714m	補助済13,041m		

流域防災機能強化対策事業

流域の防災機能を強化するため、面的な森林整備に県と市町が連携して取り組むことで、森林が有する土砂流出防止等の公益的機能の高度発揮を図り、「災害に強い森林づくり」を推進します。

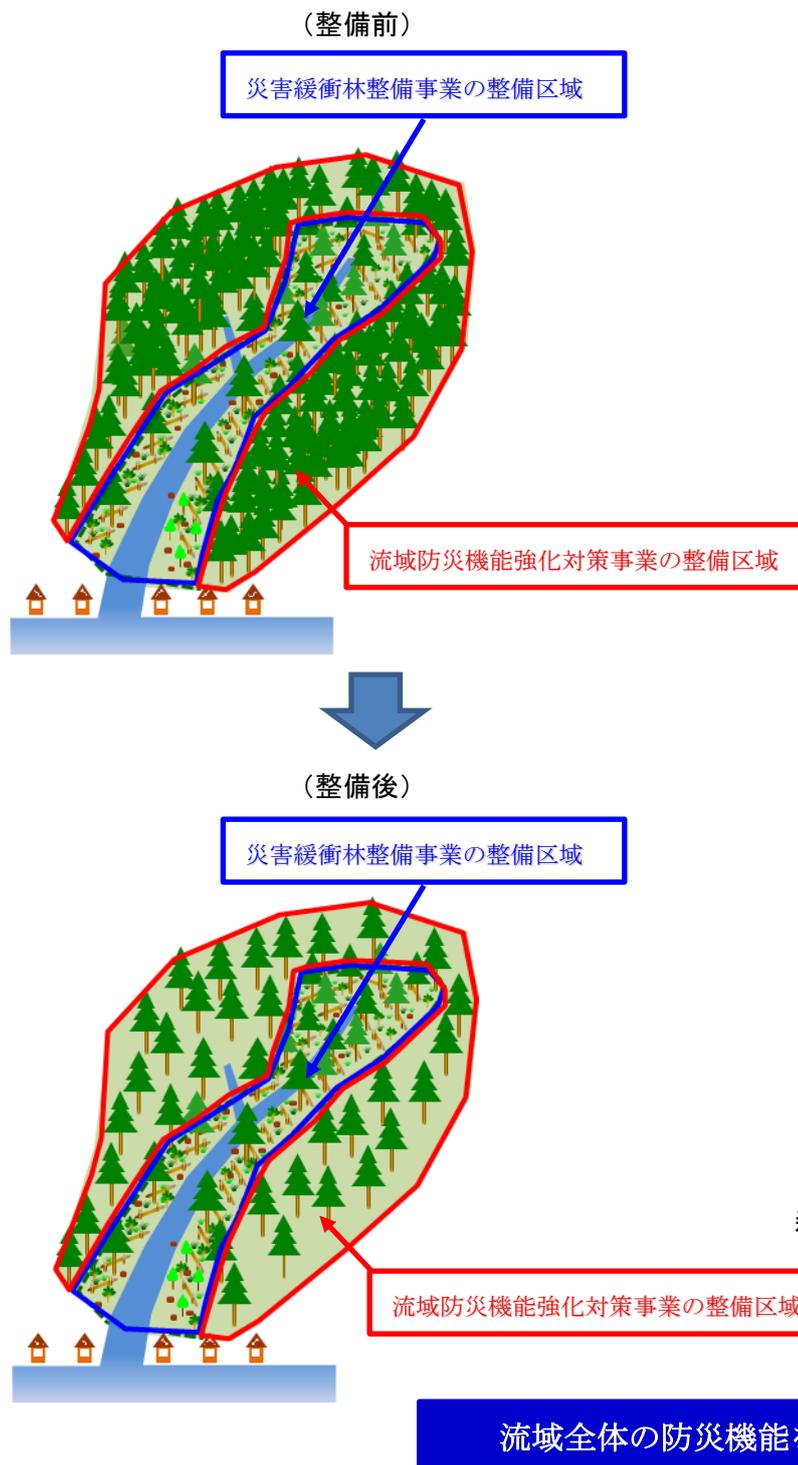
<事業対象区域>

県が実施する災害緩衝林整備事業の整備範囲の森林と一体的に整備する区域、環境林、特定水源地域

<事業の内容>

県が行う災害緩衝林整備事業に準じた森林整備

<整備のイメージ>



整備前のイメージ
根系や下層植生の発達が不十分



整備後のイメージ
森林整備の実施により、根系や下層植生が発達

森林再生力強化対策事業

流域の防災機能を強化するため、獣害対策に県と市町が連携して取り組むことで、森林が有する土砂流出防止等の公益的機能の高度発揮を図り、「災害に強い森林づくり」を推進します。

獣害防止施設等整備

<事業の内容>

○市町村森林整備計画において指定された鳥獣害防止森林区域内において、森林所有者等が行う獣害防止施設等の設置や補修に対して支援

○支援した箇所においては、森林所有者等が施設の定期的な点検や更新状況の確認を実施



防護柵設置のイメージ

的確な獣害防止対策の実施

ニホンジカの捕獲等

<事業の内容>

○鳥獣害防止森林区域内における獣害防止施設等の整備箇所周辺において、ICT等の新たな技術を用いた捕獲をモデル的に実施する市町に対して支援

○市町は、ICT等の新たな技術を用いることによる見回り作業の省力化や効果的な捕獲に関する検証を実施



捕獲のイメージ
自動撮影カメラによる遠隔監視

効果的な捕獲による被害軽減

植栽地の確実な更新

令和4年度流域防災機能強化対策事業 実施状況

名張市

整備前

実施中



令和4年度森林再生力強化対策事業 実施状況

度会町

獣害防止施設設置前

獣害防止施設設置後



令和4年度森林再生力強化対策事業 実施状況

多気町

獣害防止施設設置状況



松阪市

過年度設置箇所状況



令和 4 年度 みえ森と緑の県民税市町交付金事業（防災枠）の進捗状況

R4.12.31現在

市町	事業量 (見込み)	事業費 (円)	内防災枠 (円)	進捗
四日市市	80本	13,000,000	3,250,000	三者協定済 実施中
鈴鹿市	20本	1,771,000	442,750	三者協定済 実施中
亀山市	167本	990,000	247,500	三者協定済 実施中
菰野町	14本	1,500,000	375,000	三者協定済 実施中
津市	252本	8,165,769	2,041,442	三者協定済 実施中
松阪市	1,100本	20,200,000	5,000,000	三者協定済 実施中
多気町	83本	3,600,000	900,000	三者協定済 実施中
大台町	679本	18,840,000	4,710,000	三者協定済 実施中
鳥羽市	1本	820,000	205,000	
度会町	566本	10,000,000	2,500,000	三者協定済 実施中
名張市	517本	4,708,000	1,177,000	三者協定済 実施中
計	3,479本	83,594,769	20,848,692	

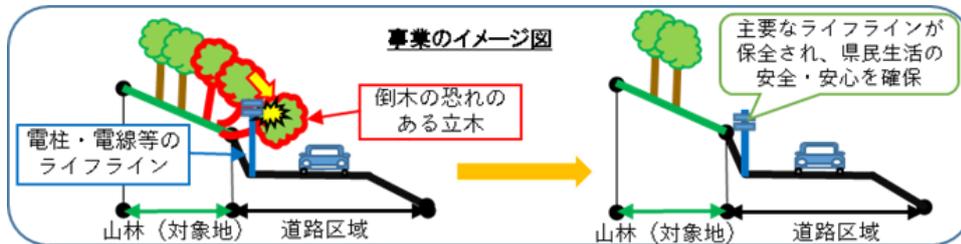
災害からライフラインを守る事前伐採事業

<事業の目的>

台風などの倒木被害によりライフラインを寸断する恐れのある樹木の事前伐採に取り組むことで、県民の安全・安心な生活環境を守る森林づくりを推進します。

<事業の対象>

- 森林法第2条に定義する森林
- 台風等の倒木被害により、ライフラインを寸断させる恐れのある樹木



配電線の倒木被害例

<事業の内容>

ライフライン事業者、市町及び県が連携して、台風などの倒木被害によりライフラインを寸断する恐れのある樹木の事前伐採に取り組む事業

- 伐採調査：事業の対象となる箇所において、伐採施工前に実施する調査等
 - ア 伐採施工範囲や伐採本数にかかる現地調査
 - イ 伐採対象木の所有者の明確化及び承諾交渉
 - ウ 図面及び設計根拠資料の作成
 - エ その他、知事が必要と認めた事項
- 伐採施工：事業の対象となる箇所における以下の作業
 - ア 台風等の倒木被害により、ライフラインを寸断する恐れのある樹木等の伐採・除去
 - イ 伐採木の造材・集積及び処理
 - ウ 伐採後の植栽及び獣害防止施設等の整備
(ただし、樹高等によりライフラインに影響を与えない樹種に限る)



事業実施前

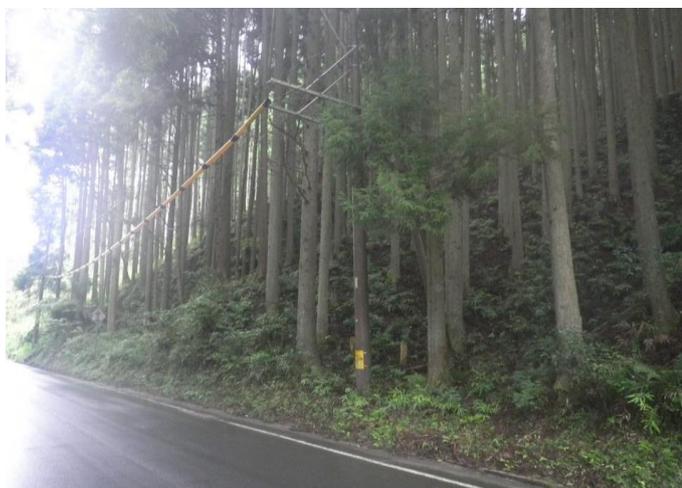


事業実施後

令和4年度災害からライフラインを守る事前伐採 実施状況

津市

実施前



実施後



大台町

実施前



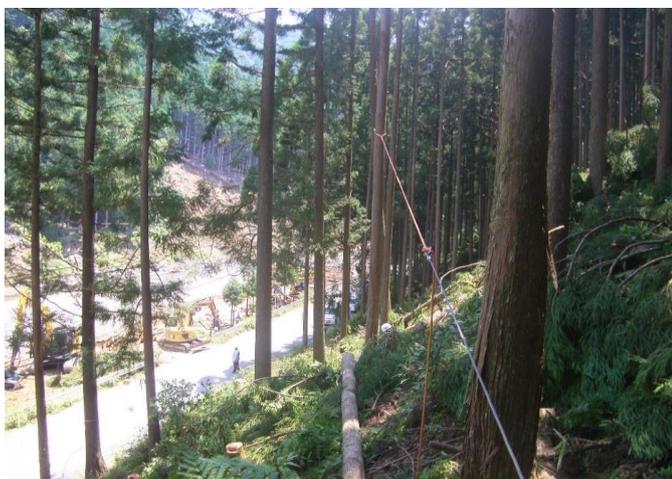
実施後



令和4年度災害からライフラインを守る事前伐採 実施状況

大台町

実施中



松阪市

合同安全講習実施状況



県民税PR(事業実施中 津市)



県民税PR(事業実施中 亀山市)



⑦ーウ みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠、加算枠）事業

担当課：みどり共生推進課

基本方針：1、2

対策区分：1、2、3、4、5

1 事業の目的

森林所有者や事業者、森林づくりに取り組む団体等と主体的に接点を持ちながらパートナーシップを築き、地域の森林づくりのリード役となる市町が、市町交付金を活用することで、地域の実情に応じて創意工夫して森林づくり等の施策を展開します。

2 事業概要

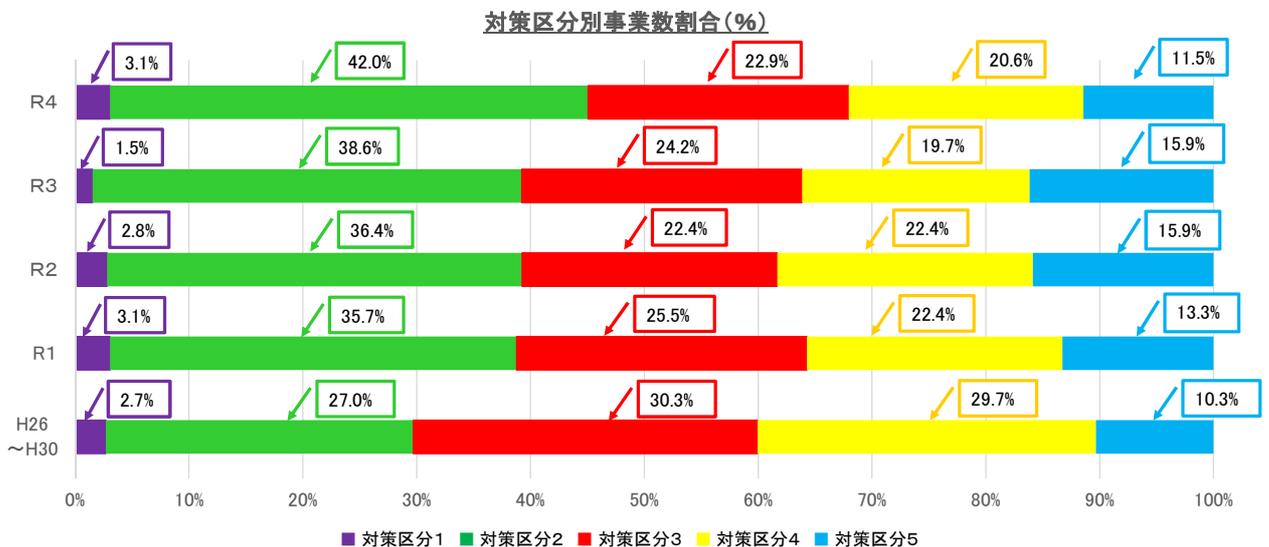
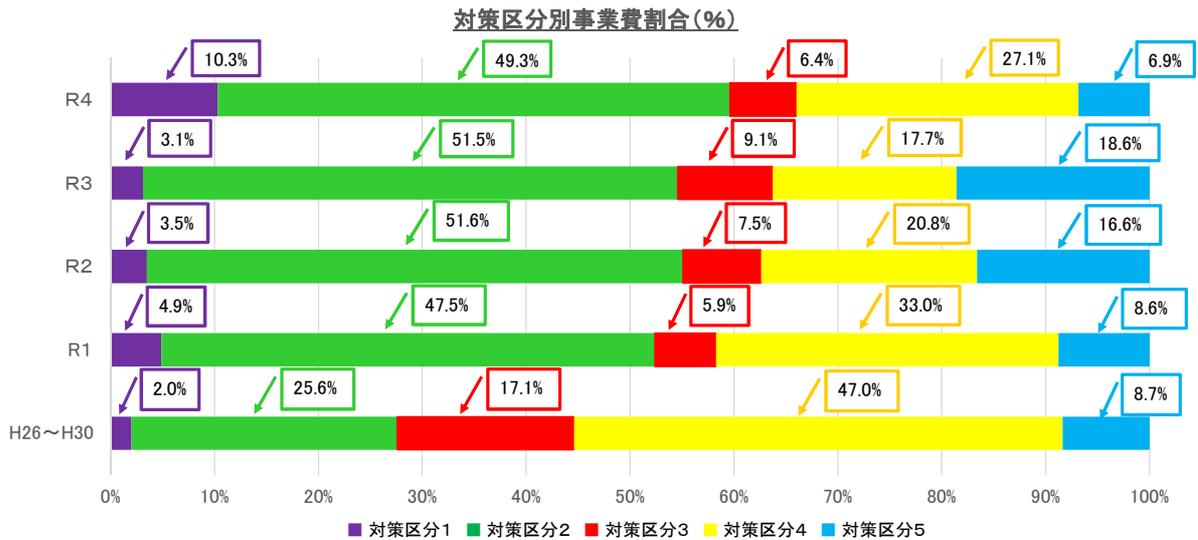
1市町当たり500万円の均等配分と、森林面積配分、人口配分の3つの配分方法を組み合わせた「基本枠交付金」と、森林面積が100ha未満または森林率が10%未満である市町からの申請に基づき、5年間の累計申請上限額1,000万円とする「加算枠交付金」を交付します。

この交付金を財源に、市町は、事業実施の3原則を満たし、森林環境譲与税と目的・用途を区分したうえで、森林づくり等の施策を展開します。

令和 4 年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠、加算枠）事業

みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠、加算枠）事業 対策区分別一覧（基金活用額を含む）

対策区分	対策内容	活用額（円）					事業数（事業）				
		H26～H30	R 1	R 2	R 3	R 4	H26～H30	R 1	R 2	R 3	R 4
1	土砂や流木を出さない森林づくり	49,866,157	17,001,600	9,977,537	11,363,000	46,205,000	14	3	3	2	4
2	暮らしに身近な森林づくり	635,878,895	164,386,151	146,755,195	186,027,950	220,721,144	141	35	39	49	55
3	森を育む人づくり	423,275,715	20,339,323	21,463,756	32,940,200	28,618,400	158	25	24	32	30
4	森と人をつなぐ学びの場づくり	1,168,678,649	114,201,787	59,197,482	64,001,800	121,500,289	155	22	24	26	27
5	地域の身近な水や緑の環境づくり	207,975,329	30,293,430	47,207,723	67,179,100	30,693,780	54	13	17	21	15
合計		2,485,674,745	346,222,291	284,601,693	361,512,050	447,738,613	522	98	107	130	131



令和 4 年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠、加算枠）事業 市町別一覧

【四日市市】

対策区分	市町事業名	当年度交付額 (円)	基金活用額 (円)	事業内容	進捗状況
2	小学校支障木伐採業務委託	4,972,000		市が実施する、小学校における危険木の伐採等	実施中
2	中学校支障木伐採業務委託	4,984,000		市が実施する、中学校における危険木の伐採等	実施中
2	都市公園危険木処理事業	5,000,000		市が実施する、都市公園の危険木の伐採等	実施中
2	里山・竹林環境保全支援事業	3,000,000		活動団体が実施する、里山や竹林の整備に対する支援	実施中
2	危険木等除去支援事業	1,000,000		自治会等が実施する、道路沿いの危険木の伐採等に対する支援	実施中
2	災害からライフラインを守る事前伐採事業	3,250,000		市が実施する、倒木被害により電力などのライフラインを寸断する恐れのある樹木の事前伐採	実施中
4	市民活動センター運営事業	976,800		市が実施する、市民センターへの木製備品（テーブル、ベンチ、書架）の導入	実施中
4	一般備品整備事業（小学校）		8,163,000	市が実施する、小学校図書室への木製備品（机、椅子）の導入	実施中
4	一般備品整備事業（中学校）	4,511,200	5,433,800	市が実施する、中学校図書室への木製備品（机、イス）の導入	実施中
四日市市計		27,694,000	13,596,800		

【桑名市】

対策区分	市町事業名	当年度交付額 (円)	基金活用額 (円)	事業内容	進捗状況
2	里山再生・竹林整備推進事業	4,931,000		市が実施する、地元住民や児童・生徒の体験活動を通じた竹林の整備	未着手
5	播磨 2 号緑地里山整備事業	534,000		市が活動団体に委託して実施する、森林公園内の散策路整備等	実施中
	みえ森と緑の県民税市町交付金基金積立事業	10,419,000		公共施設を木造・木質化するための基金積立	—
桑名市計		15,884,000	0		

【鈴鹿市】

対策区分	市町事業名	当年度交付額 (円)	基金活用額 (円)	事業内容	進捗状況
2	暮らしを守る森林保全事業	2,219,000		市が実施する、海岸林や人家周辺の病虫害被害木の伐採と樹幹注入、植樹	実施中
2	災害からライフラインを守る事前伐採事業	500,000		市が実施する、倒木被害により電力などのライフラインを寸断する恐れのある樹木の事前伐採	完了
3	森林環境教育支援事業	200,000		市民団体が実施する、森林教育活動への支援	実施中
3	緑に親しむ記念樹贈呈事業	660,000		市が実施する、植木まつり会場での記念樹配布とアンケート調査	完了
3	森と緑の生涯学習講座	980,000		市が実施する、公民館での「森と緑の生涯学習講座」の開催	実施中
4	図書館木製備品購入事業	1,000,000		市が実施する、図書館への木製書架の導入	未着手
4	公立保育所及び公立幼稚園等設置事業	5,000,000		市が実施する、公立保育所及び公立幼稚園への木製備品の導入	未着手
5	深谷公園里山保全事業	150,000		活動団体が実施する、公園内の里山保全活動に対する支援	実施中
5	ふるさとの木（名木古木）保存活用事業補助事業	2,680,000		地域団体等が実施する、天然記念物や地域緑化のシンボルとなっている樹木の診断及び治療等に対する支援	実施中
5	緑と人を育む 長太の大楠再生プロジェクト	1,320,000		市が実施する、地域緑化のシンボルツリーである長太の大楠の治療等	実施中
5	林道啓発看板等設置事業	810,000	2,927,000	市が実施する、林道や登山道の木製案内看板の設置	未着手
	みえ森と緑の県民税市町交付金基金積立事業	4,500,000		木製備品導入のための基金積立	—
鈴鹿市計		20,019,000	2,927,000		

【亀山市】

対策区分	市町事業名	当年度交付額 (円)	基金活用額 (円)	事業内容	進捗状況
2	集落周辺の森林整備事業（危険木等伐採）	2,000,000		市が実施する、公共施設周辺や道路上の危険木の伐採等	実施中
2	災害からライフラインを守る事前伐採事業	500,000		市が実施する、倒木被害により電力などのライフラインを寸断する恐れのある樹木の事前伐採	完了
3	森と木材のふれあい事業（森林づくり協議会）	800,000		協議会が実施する、山の日イベント等の開催に対する支援	実施中
4	森と木材のふれあい事業（木とふれあう）	1,485,000		市が実施する、幼稚園・保育園等における木製遊具の組立イベントと木製遊具の導入	完了
4	森林環境教育・木育が行える場の整備事業（森林公園やまびこ）	1,958,000		市が実施する、森林公園の八橋のリニューアルと東屋の設置	実施中
4	亀山市立図書館備品等整備事業	6,000,000	4,005,000	市が実施する、市立図書館への木製備品の導入	実施中
亀山市計		12,743,000	4,005,000		

【いなべ市】

対策区分	市町事業名	当年度交付額 (円)	基金活用額 (円)	事業内容	進捗状況
2	危険木の除去事業	6,160,000		自治会が実施する、人家裏や通学路沿いの危険木の伐採等への支援	実施中
2	危険木の除去事業（主要道路）	2,659,050		市が実施する、主要道路の交通の支障になる危険木の伐採・除去	実施中
2	里山竹林環境保全支援事業	2,500,000		活動団体等が自主的に実施する、里山や竹林整備に対する支援	実施中
3	中学校卒業記念品配布事業	917,950		市が実施する、市産材で作成した記念品（箸）の中学校卒業生への配布	実施中
3	森林環境教育支援事業	200,000		市が実施する、小学生を対象とした森林教育	実施中
いなべ市計		12,437,000	0		

【木曾岬町】

対策区分	市町事業名	当年度交付額 (円)	基金活用額 (円)	事業内容	進捗状況
2	暮らしを守る緑保全事業	3,081,650	3,973,407	町が実施する、クビアカツヤカミキリによる被害から桜並木を保全するための取組	未着手
3	森林環境教育事業	1,182,450		町が実施する、中学生を対象とした自然体験学習	完了
5	ピオトープ及び学校の森整備事業	1,175,900		町が実施する、小学校敷地内のピオトープと学校の森の整備	実施中
木曾岬町計		5,440,000	3,973,407		

【東員町】

対策区分	市町事業名	当年度交付額 (円)	基金活用額 (円)	事業内容	進捗状況
2	危険木伐倒等業務	1,000,000	500,000	町が実施する、人家裏や通学路沿いの危険木の伐採等	実施中
3	森林教育授業		85,000	町が実施する、小学生を対象とした森林教育	完了
4	教育施設等の備品等購入	5,843,000	3,200,000	町が実施する、教育施設等への木製備品の導入	実施中
東員町計		6,843,000	3,785,000		

【菟野町】

対策区分	市町事業名	当年度交付額 (円)	基金活用額 (円)	事業内容	進捗状況
2	病虫害被害木伐採搬出事業	2,000,000		土地所有者等が実施する、病虫害による被害木の伐採等への支援	実施中
2	危険樹木伐採事業	400,000		町が実施する、倒木被害により電力などのライフラインを寸断する恐れのある樹木の事前伐採	実施中
4	幼児期から木に親しむ木育推進事業	1,000,000		町が実施する、幼稚園における木製遊具の導入	実施中
	みえ森と緑の県民税市町交付金基金積立事業	6,351,000		町が実施する、バリアフリー木道の整備のための基金積立	—
菟野町計		9,751,000	0		

【朝日町】

対策区分	市町事業名	当年度交付額 (円)	基金活用額 (円)	事業内容	進捗状況
2	里山・竹林環境保全支援事業（あさひ竹プロジェクト）	450,000		活動団体が実施する、里山や竹林整備に対する支援	実施中
2	里山・竹林環境保全用機器貸出事業（あさひ竹プロジェクト）	2,177,000		町が実施する、里山や竹林の整備を行う活動団体へ貸し出すためのチップターの購入	実施中
3	森林環境教育事業（あさひ竹プロジェクト）	3,156,000	1,841,000	町が実施する、竹を活用したさまざまなイベントの開催	実施中
4	森と緑とふれあう環境づくり事業（幼保一体化施設）		1,900,000	町が実施する、幼保一体化施設の芝生の維持管理	実施中
朝日町計		5,783,000	3,741,000		

【川越町】

対策区分	市町事業名	当年度交付額 (円)	基金活用額 (円)	事業内容	進捗状況
3	川越中学校自然教室	1,190,000		町が実施する、川越中学校の1年生を対象とした自然教室	完了
3	川越北小学校自然教室	678,000		町が実施する、川越北小学校の5年生を対象とした自然教室	完了
3	川越南小学校自然教室	484,000		町が実施する、川越南小学校の5年生を対象とした自然教室	完了
4	川越北小学校図書室机・椅子整備事業	3,686,000		町が実施する、小学校の図書室への木製備品の導入	実施中
4	川越町あいあいホール改修事業		10,073,000	町が実施する、文化施設のエントランスホールの木質化	完了
川越町計		6,038,000	10,073,000		

【津市】

対策区分	市町事業名	当年度交付額 (円)	基金活用額 (円)	事業内容	進捗状況
1	津市林地残材搬出促進事業	33,508,000		事業体等が実施する、未利用間伐材の搬出に対する支援	実施中
2	災害からライフラインを守る事前伐採事業	3,000,000		市が実施する、倒木被害により電力などのライフラインを寸断する恐れのある樹木の事前伐採	実施中
2	竹林整備支援事業	1,527,000		市が実施する、活動団体等へ貸し出す小型竹破砕機の購入	完了
3	津市森林環境教育事業	500,000		市が実施する、「夏休み森と緑の親子塾」と「まるごと林業体験」の開催	完了
3	美里水源の森「林業体験」事業	250,000		地元協議会が実施する、美里水源の森における林業体験への支援	未着手
4	子育て支援センターにおける木育環境整備事業	468,000		市が実施する、子育て支援施設における木製遊具の導入	完了
津市計		39,253,000	0		

【松阪市】

対策区分	市町事業名	当年度交付額 (円)	基金活用額 (円)	事業内容	進捗状況
2	里山の森林安全安心対策事業	13,084,000		市が実施する、集落や公共施設周辺の危険木の伐採等	実施中
2	災害からライフラインを守る事前伐採事業	5,000,000		市が実施する、倒木被害により電力などのライフラインを寸断する恐れのある樹木の事前伐採	実施中
3	森林環境学習事業	2,900,000		市が実施する、小学校を対象とした森林教育活動	完了
3	松阪の木魅力発信活動事業	300,000		地域団体が実施する、「木と人とのつながり魅力体験ツアー（仮称）」への支援	実施中
4	保育園木育推進事業	2,000,000		市が実施する、保育園における木製備品の導入と木育絵本の読み聞かせ	実施中
5	都市公園整備事業	4,000,000		市が実施する、都市公園内への東屋の設置	完了
5	文化財センター施設整備事業	4,000,000		市が実施する、文化財センターにおける東屋の設置	完了
松阪市計		31,284,000	0		

【多気町】

対策区分	市町事業名	当年度交付額 (円)	基金活用額 (円)	事業内容	進捗状況
2	里山環境保全支援事業	300,000		活動団体等が実施する、自主的な里山整備活動に対する支援	実施中
2	災害からライフラインを守る事前伐採事業	900,000		町が実施する、倒木被害により電力などのライフラインを寸断する恐れのある樹木の事前伐採	実施中
3	木とふれあう教育支援事業	150,000		町が実施する、小学校における木工体験と森林教育	実施中
4	木とふれあう環境づくり事業	6,814,000		町が実施する、小学校や保育園などへの木製備品や木製玩具の導入	実施中
多気町計		8,164,000	0		

【明和町】

対策区分	市町事業名	当年度交付額 (円)	基金活用額 (円)	事業内容	進捗状況
2	松林整備事業	6,096,000		町が実施する、海岸沿いの松林における病害虫被害木の伐採等	実施中
3	木育事業	100,000		町が実施する、小学校における木育活動	完了
4	学校木製備品購入事業	4,500,000		町が実施する、小学校における木製机・椅子の導入	実施中
明和町計		10,696,000	0		

【大台町】

対策区分	市町事業名	当年度交付額 (円)	基金活用額 (円)	事業内容	進捗状況
2	災害からライフラインを守る事前伐採事業	5,152,000		町が実施する、倒木被害により電力などのライフラインを寸断する恐れのある樹木の事前伐採	実施中
2	集落周辺等危険木伐採事業	9,860,000		町が実施する、集落周辺や人家裏の危険木の伐採	実施中
3	森林環境教育事業	745,000		町が実施する、地元高校生によるキノコ栽培の体験学習や森林利用に関して学ぶ機会の創出	実施中
大台町計		15,757,000	0		

【伊勢市】

対策区分	市町事業名	当年度交付額 (円)	基金活用額 (円)	事業内容	進捗状況
2	森林整備事業	16,284,000		市が実施する、海岸沿いの松林における病害虫被害木の伐採、地上散布、樹幹注入等	実施中
2	危険木伐採事業		12,760,000	市が実施する、小中学校などの教育施設周辺の危険木伐採	実施中
4	二見地区総合園整備事業	1,512,000	8,488,000	市が実施する、公立保育所への木製備品の導入	実施中
伊勢市計		17,796,000	21,248,000		

【鳥羽市】

対策区分	市町事業名	当年度交付額 (円)	基金活用額 (円)	事業内容	進捗状況
2	危険木伐採事業	4,513,000		市が実施する、市民生活に支障をきたす恐れがある危険木の伐採	完了
2	危険木伐採事業費補助金	4,000,000		自治会等が実施する、危険木の伐採に対する支援	実施中
2	災害からライフラインを守る事前伐採事業		205,000	市が実施する、倒木被害により電力などのライフラインを寸断する恐れのある樹木の事前伐採	未着手
	みえ森と緑の県民税市町交付金基金積立事業	500,000		危険木伐採のための基金積立	—
鳥羽市計		9,013,000	205,000		

【志摩市】

対策区分	市町事業名	当年度交付額 (円)	基金活用額 (円)	事業内容	進捗状況
2	災害に強い森林づくり事業	2,575,000		市が実施する、道路沿いの危険木の伐採	実施中
2	松くい虫防除事業	5,130,000		市が実施する、松林公園や景勝地の松枯れや蔓延を防ぐための被害木伐採等	実施中
3	森と緑ふれあい事業	686,000		市が実施する、木工体験などの体験学習	実施中
4	観光農園木製備品購入	1,320,000		市が実施する、公共施設への木製遊具の導入	実施中
5	創造の森横山遊歩道整備事業	2,000,000		市が実施する、創造の森横山の遊歩道整備	実施中
志摩市計		11,711,000	0		

【玉城町】

対策区分	市町事業名	当年度交付額 (円)	基金活用額 (円)	事業内容	進捗状況
3	森林環境教育・育事業	472,000		町が実施する、保育所や小学校での森林教育	実施中
4	公共施設整備事業	6,048,000	5,000,000	町が実施する、公共施設等の内装の木質化と木質化に向けた設計	実施中
	みえ森と緑の県民税市町交付金基金積立事業	10,000		学校施設の木質化のための基金積立	—
玉城町計		6,530,000	5,000,000		

【度会町】

対策区分	市町事業名	当年度交付額 (円)	基金活用額 (円)	事業内容	進捗状況
1	溪流倒木撤去事業	1,500,000		町が実施する、溪流沿いの流倒木の伐採・除去	未着手
2	危険木伐採事業	1,778,000	772,000	町が実施する、公共施設周辺の危険木の伐採	実施中
2	災害からライフラインを守る事前伐採事業	2,500,000		町が実施する、倒木被害により電力などのライフラインを寸断する恐れのある樹木の事前伐採	実施中
3	森林環境教育推進事業	940,000		町が実施する、小学生や幼児を対象とした森林・林業に関する出前授業の実施	実施中
4	木材とふれあう場づくり推進事業	2,980,000		町が実施する、保育所等への木製備品の導入	実施中
度会町計		9,698,000	772,000		

【大紀町】

対策区分	市町事業名	当年度交付額 (円)	基金活用額 (円)	事業内容	進捗状況
1	溪流倒木等処理事業	4,000,000		町が実施する、山間部溪流沿い等の倒木や流木の除去	実施中
2	生活環境林整備事業	4,000,000		町が実施する、公共施設や通学路沿いの危険木の伐採	実施中
	みえ森と緑の県民税市町交付金基金積立事業	4,976,000		水道水源林を町有化するための基金積立	—
大紀町計		12,976,000	0		

【南伊勢町】

対策区分	市町事業名	当年度交付額 (円)	基金活用額 (円)	事業内容	進捗状況
2	危険木除去事業	5,884,000		町が実施する、公共施設周辺の危険木除去	実施中
2	森林環境教育事業	387,000		町が実施する、小学校における森林教育	未着手
4	南勢保育園・南伊勢図書室木製備品購入事業	6,943,000		町が実施する、保育園と図書室への木製備品（椅子・机等）の導入	実施中
南伊勢町計		13,214,000	0		

【名張市】

対策区分	市町事業名	当年度交付額 (円)	基金活用額 (円)	事業内容	進捗状況
2	危険木伐採事業	4,432,000		市が実施する、公共施設周辺及び通学路等の危険木の伐採	実施中
2	未利用間伐材バイオマス利用推進事業	1,200,000		森林所有者等が実施する、未利用間伐材の搬出に対する支援	実施中
2	人家裏危険木伐採事業	1,500,000		地域住民等が実施する、人家裏の危険木の伐採に対する支援	実施中
2	災害からライフラインを守る事前伐採事業	1,200,000		市が実施する、倒木被害により電力などのライフラインを寸断する恐れのある樹木の事前伐採	実施中
3	みて・さわって・森のわくわく体験事業	462,000		市が実施する、公立保育園及び幼稚園を対象とした森林教育活動	未着手
3	森林環境教育推進事業	100,000		学校単位の実行委員会が実施する、小学校における森林教育に対する支援	実施中
4	県産材に親しむことができる木育推進事業	1,674,000	2,700,489	市が実施する、公立保育所等における木製玩具の導入と森林教育活動	実施中
4	学校林整備事業	900,000		活動団体が実施する、学校林における遊歩道、広場等の整備に対する支援	実施中
5	森林公園等環境活用整備事業	840,000		地域協議会等が実施する、森林公園等の整備に対する支援	実施中
5	桜並木保全管理事業	300,000		活動団体が実施する、桜並木保全活動に対する支援	未着手
5	無形民俗文化財保全事業	300,000		活動団体が実施する、無形文化財保全のための森林整備に対する支援	実施中
名張市計		12,908,000	2,700,489		

【伊賀市】

対策区分	市町事業名	当年度交付額 (円)	基金活用額 (円)	事業内容	進捗状況
2	みんなの里山整備活動推進事業	9,120,000		自治会等が実施する、集落周辺の里山や竹林の整備に対する支援	実施中
2	未利用間伐材バイオマス利用推進事業	7,397,000	103,000	森林所有者等が実施する、未利用間伐材の搬出に対する支援	実施中
3	木づかい木育推進事業	2,509,000		市が実施する、出生児及び小学5年生を対象とした木製フォトフレームや地域材の箸の配布	実施中
3	伊賀の森っこ育成推進事業	3,000,000		実行委員会が実施する、小中学校における森林教育に対する支援	実施中
3	地域の森と緑のつながり支援事業	300,000		自治会等が実施する、森林・林業・環境学習・木工のイベントや学習活動への支援。	実施中
3	森のやすらぎ空間整備事業（伊賀の木活用人材育成）	700,000		活動団体等が実施する、地元高校生と協力して行う地域材を活用した木製品開発への支援	実施中
伊賀市計		23,026,000	103,000		

【尾鷲市】

対策区分	市町事業名	当年度交付額 (円)	基金活用額 (円)	事業内容	進捗状況
2	人家裏危険木伐採事業	1,566,000		自治会等が実施する、人家裏の危険木伐採に対する支援	実施中
2	矢浜公園ほか整備事業	2,000,000		市が実施する、公園等における危険木伐採	実施中
4	木とふれあう学校環境づくり事業	238,000		市が実施する、過去に市町交付金事業で導入した机・椅子の維持管理	実施中
4	尾鷲中学校学習机・椅子整備事業	5,280,000		市が実施する、中学校への市産材を活用した机・椅子の導入	実施中
5	中村山公園整備事業	1,997,000		市が実施する、森林公園の整備	実施中
	みえ森と緑の県民税市町交付金基金積立事業	531,000		災害からライフラインを守る事前伐採事業を実施するための基金積立	—
尾鷲市計		11,612,000	0		

【紀北町】

対策区分	市町事業名	当年度交付額 (円)	基金活用額 (円)	事業内容	進捗状況
1	河川周辺森林枯木整備事業	7,197,000		町が実施する、河川沿いの枯損木の伐採・搬出	実施中
2	危険木伐採事業	4,160,000		自治会等が実施する、人家裏の危険木の伐採に対する支援	実施中
2	集落周辺森林（里山）整備事業	120,000		活動団体等が実施する、集落周辺等の荒廃した森林の整備や歩道整備に対する支援	実施中
3	森林環境教育活動支援事業	1,130,000		町が実施する、小中学生を対象とした森林教育	実施中
紀北町計		12,607,000	0		

【熊野市】

対策区分	市町事業名	当年度交付額 (円)	基金活用額 (円)	事業内容	進捗状況
2	小・中学校危険木伐採・枝切事業	11,000,000		市が実施する、学校敷地内において倒木のおそれのある危険木の伐採等	実施中
5	森とふれあいの場拠点づくり事業	5,894,000		市が実施する、森や緑と触れ合える公園等の整備	実施中
熊野市計		16,894,000	0		

【御浜町】

対策区分	市町事業名	当年度交付額 (円)	基金活用額 (円)	事業内容	進捗状況
2	学校危険木伐採事業	5,919,877		町が実施する、学校敷地内における危険木の伐採等	完了
2	町道危険木伐採事業	1,095,160		町が実施する、道路沿いの危険木の伐採等	完了
4	木製備品導入事業		400,000	民間事業者が実施する、木製什器等の導入に対する支援	未着手
5	森林公園等環境整備事業	600,963	1,164,917	町が実施する、森や緑と触れ合える公園等の整備	実施中
御浜町計		7,616,000	1,564,917		

【紀宝町】

対策区分	市町事業名	当年度交付額 (円)	基金活用額 (円)	事業内容	進捗状況
2	生活環境林整備事業	6,944,000		町が実施する、公共施設の周辺や生活道路沿いにおける危険木等の伐採等	実施中
3	森と緑の環境教育事業	1,000,000		町が実施する、森や緑に関する講演会やワークショップの実施	実施中
紀宝町計		7,944,000	0		

みえ森と緑の県民税制度運営事業

令和 4 年 12 月

1. 事業の目的

この事業は、みえ森と緑の県民税の制度が円滑に運営されるよう、県民への周知や評価委員会の設置・運営等を行うものです。

2. 令和 4 年度事業進捗状況

1) みえ森と緑の県民税評価委員会の運営

令和 4 年 7 月に第 1 回評価委員会を、8 月に第 2 回評価委員会を、11 月に第 3 回評価委員会を開催し、令和 4 年 9 月 12 日付け森緑評第 14 号によりみえ森と緑の県民税基金事業の実施後の評価について、答申を受けました。

1-1) 委員の任命

令和 4 年 10 月 1 日から令和 6 年 9 月 30 日の 2 年間を任期として、次の 10 名を委員に任命しました。

みえ森と緑の県民税評価委員会委員

委員氏名	所属団体等	分野
池山 敦	皇學館大学教育開発センター 准教授	学識経験者
石川 知明	三重大学大学院生物資源学研究科 教授	学識経験者
上田 章善	三重県小中学校長会幹事（鈴鹿市立白鳥中学校）	教育
木村 京子	三重県環境学習情報センター長	環境学習
谷川 東子	名古屋大学大学院生命農学研究科 准教授	学識経験者
林 拙郎	三重大学名誉教授	学識経験者
松井 寿人	三重県中小企業団体中央会 事務局長	商工
三田 泰雅	四日市大学総合政策学部 教授	学識経験者
森下 ゆう子	有限会社森下林業	林業
矢田 真佐美	三重県女性会連絡協議会 副会長	消費者

五十音順・敬称略 令和 4 年 12 月末現在

1-2) 評価委員会概要

【令和 4 年度第 1 回みえ森と緑の県民税評価委員会】

- 1 日時 令和 4 年 7 月 11 日（月） 13 時 30 分から 16 時 30 分
- 2 場所 アスト津 4 階 アストホール
- 3 出席委員 10 名（うち、4 名がリモート参加）

4 議題

- (1) みえ森と緑の県民税評価委員会への諮問
- (2) 令和3年度みえ森と緑の県民税基金事業の実績

5 会議の公開・非公開 公開

6 傍聴者 15名（うち、5名がリモート参加）



令和4年度第1回みえ森と緑の県民税評価委員会の様子

【令和4年度第2回みえ森と緑の県民税評価委員会】

1 日時 令和4年8月29日（月） 13時30分から16時30分

2 場所 アスト津 4階 アストホール

3 出席委員 8名（うち、4名がリモート参加）

4 議題

- (1) 令和3年度みえ森と緑の県民税基金事業の評価
- (2) みえ森と緑の県民税条例の施行の状況についての検討

5 会議の公開・非公開 公開

6 傍聴者 8名（うち、3名がリモート参加）



令和4年度第2回みえ森と緑の県民税評価委員会の様子

【令和 4 年度第 3 回みえ森と緑の県民税評価委員会】

- 1 日時 令和 4 年 11 月 7 日（月） 13 時 30 分から 16 時 30 分
- 2 場所 アスト津 4 階 会議室 1
- 3 出席委員 7 名（うち、2 名がリモート参加）
- 4 議題
 - （1）委員長、副委員長の選出
 - （2）みえ森と緑の県民税条例の施行の状況についての検討
- 5 会議の公開・非公開 公開
- 6 傍聴者 5 名（リモート参加）



令和 4 年度第 3 回みえ森と緑の県民税評価委員会の様子

1 - 3）みえ森と緑の県民税施行状況検討にかかる県民等の意見聴取

みえ森と緑の県民税の施行状況の検討にあたり、市町及び関係団体、一般県民を対象にアンケート調査等による意見聴取を行いました。（意見聴取した結果は、令和 4 年度第 2 回及び第 3 回評価委員会で報告しました。）

【市町】

- 1 期間 令和 4 年 6 月 16 日から 7 月 22 日
- 2 方法 書面による意見聴取
- 3 調査項目 28 項目

【関係団体】

- 1 期間 令和 4 年 6 月 16 日から 7 月 22 日
- 2 方法 書面による意見聴取
- 3 調査項目 24 項目
- 4 調査団体 森林・林業関係団体、県内森林組合

【一般県民（三重の森林づくりに関する県民意識調査）】

- 1 期間 令和 4 年 7 月 8 日から 8 月 9 日

- 2 方法 県内市町の選挙管理人名簿から無作為に抽出した 5,000 人に調査票を郵送で送付し、同封した返信用封筒による回答と WEB による回答により調査を実施
- 3 調査項目 16 項目
- 4 回答者数 2,278 人（回収率 45.6%）

2) みえ森と緑の県民税の普及啓発

ポスターの掲示や令和 3 年度事業成果発表会の開催などにより、事業の成果や本県民税の意義について周知を図っています。

2-1) 啓発物品による広報

様々な啓発物品を活用して、みえ森と緑の県民税の必要性和活用事例について広く県民に知っていただくための広報活動を行っています。

2-2) 事業成果の広報

①みえ森と緑の県民税令和 3 年度成果発表会の開催

事業実施担当者が、事業成果を直接県民に報告するとともに、市町間の情報共有を図り、市町交付金事業実施の一助とするため、事業成果発表会をオンラインで開催しました。

- 1 日時 令和 4 年 10 月 18 日（火）13 時 30 分から 17 時 00 分
- 2 場所 Zoom によるオンライン開催
- 3 発表内容 県事業 4 事業と 6 市町の事業成果発表
- 4 参加者数 81 人（評価委員、県職員、市町職員、関係団体、一般）
- 5 アンケート結果

Q.この発表会は、満足 of いくものでしたか。

- 1.満足 4 件（14%）
- 2.概ね満足 24 件（86%）
- 3.あまり満足でない 0 件（0%）
- 4.満足でない 0 件（0%）

Q.自由意見等

- ・各市町が各事業に取り組む中で、どの様に工夫したのかを聞くことができ、今後の本市の事業展開でも参考となった。
- ・市町が発表する事業について、全事業の概要を説明するのではなく、優良な事業の詳細を発表するように変更してほしい。



みえ森と緑の県民税令和3年度成果発表会の様子

②みえ森と緑の県民税令和3年度事業成果報告書の作成

令和3年度事業成果を総括し、詳細に報告するため、みえ森と緑の県民税令和3年度事業成果報告書を作成・配布しました。

2-3) メディアを活用した広報

みえ森と緑の県民税の仕組みや取り組み内容を広く県民にわかりやすく紹介するために作成したみえ森と緑の県民税のプロモーション動画をYouTubeの動画広告に活用し、情報発信を行いました。

また、FMラジオや県政だよりみえを活用して、みえ森と緑の県民税の使途等についての情報発信を行いました。

■YouTube/TrueView インストリーム動画広告

期間：令和4年7月1日から7月29日まで（19日間）

内容：15秒動画

ターゲット：18歳から54歳の男女

表示回数：265,570回（うち、視聴回数62,225回 視聴率23%）

2-4) パネル展示等による広報

県施設等において、みえ森と緑の県民税 P R のためのパネル展示を行うとともに、アンケート調査をしています。

【パネル展示の実施状況】

所属	期間	場所
四日市農林事務所	R5.2.1～R5.2.15	四日市庁舎 1 階ロビー
津農林水産事務所	R5.1.17～R5.1.31	津庁舎 1 階ロビー
松阪農林事務所	R5.2.3～R5.2.17	松阪庁舎玄関ホール
伊勢農林水産事務所	通年	伊勢庁舎 2 階ロビー
	R4.10.3～R4.10.31	伊勢庁舎 1 階ロビー
伊賀農林事務所	R4.8.1～R4.8.31	伊賀庁舎 2 階ロビー
	R4.10.18 R5.3	マルタピア（原木市場）
尾鷲農林水産事務所	R5.2.8～R5.2.20	尾鷲庁舎 1 階ロビー
熊野農林事務所	R5.1 下旬から 2 週間	熊野庁舎 1 階ロビー
林業研究所	R4.5.16～R4.5.22	イオンモール鈴鹿
	R5.2.4	三重県総合文化センター
みどり共生推進課	R5.1.5～R5.1.29	三重県立図書館



マルタピアにおけるパネル展示の様子



県伊賀庁舎におけるパネル展示の様子

2-5) 木材利用の意義や効果等についての情報発信

「木材利用と森林づくりのつながり」に対する理解促進のため、木材利用の意義や効果を県民に分かりやすく紹介する動画を作成しました。動画は、令和4年10月26日に三重テレビにて放送され、今後 YouTube やイベント等にて本動画を活用し、情報発信を行います。



動画内容 1 森林の機能について



動画内容 2 木づかいの意義について

3) 「みえ森と緑の県民税」の認知度

3-1) e-モニター制度の活用

e-モニター制度を活用し、みえ森と緑の県民税にかかるアンケート調査を実施しました。調査結果は、ホームページで公表しています。

【みえ森と緑の県民税に関するアンケート】

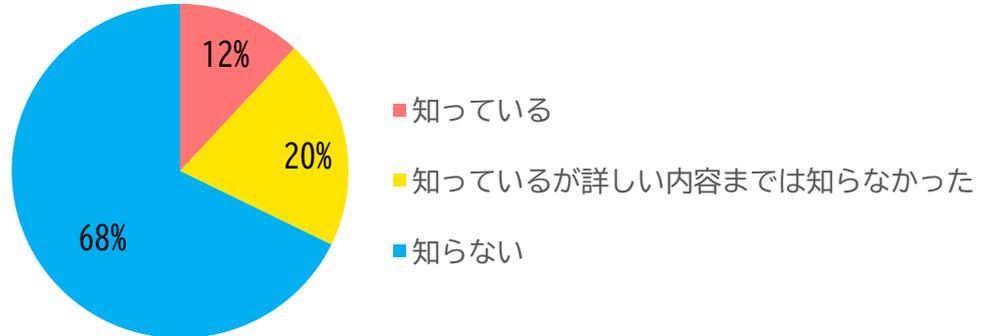
- 1 実施期間 令和4年8月3日から8月22日まで
- 2 回答率等 66.7% (回数者 924 人/対象者 1,386 人)
- 3 設問内容と回答結果

三重県では平成26年から「みえ森と緑の県民税」を導入し、個人は年額1,000円、法人は資本金額に応じた県民税均等割の10%相当額(年額2,000円～80,000円)を納めていただいています。

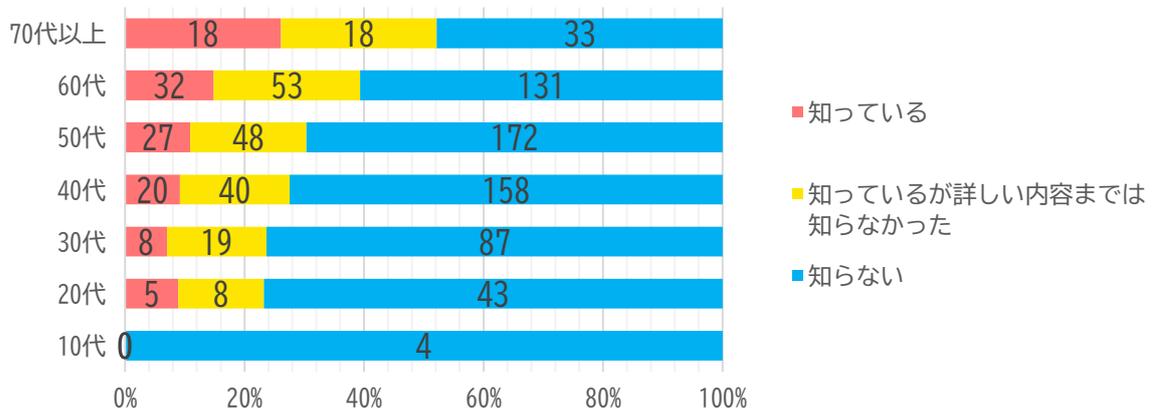
この「みえ森と緑の県民税」を活用して、県が災害緩衝林整備事業等の災害に強い森林づくりに取り組むとともに、市町が人家裏や通学路沿いの暮らしに身近な危険木の伐採、教育現場への木製備品の導入等地域に密着した取組を行っています。

あなたは、「みえ森と緑の県民税」をご存じですか。

「みえ森と緑の県民税」の認知度：全体割合 (%)



「みえ森と緑の県民税」の認知度：年代別回答数 (人)

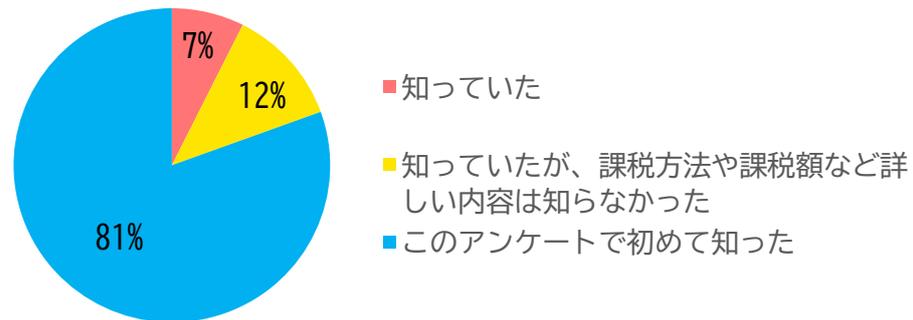


3-2) 三重の森林づくりに関する県民意識調査における認知度

みえ森と緑の県民税の施行状況の検討にあたり実施した「三重の森林づくりに関する県民意識調査」における、みえ森と緑の県民税の認知度は次のとおりでした。

- 1 実施期間 令和4年7月8日から8月9日まで
- 2 回答率等 44.9% (回数者 2,244 人/対象者 5,000 人)
- 3 回答結果

「みえ森と緑の県民税」の認知度：全体割合 (%)



「みえ森と緑の県民税」の認知度：年代別回答数 (人)

